可公吏の給

歌業で には、 述。其民

て大ぎは

はならな、質点を関すべく、よつて以て失変を がし、否其前に赤之を財业を がならな、質脳表面とは必要以 はならな、質脳表面とは必要以 生に外域を備ぶ、さればこゝに 技識すべしと云ふ外域も必要以 を開きるのを指し、管薬を拠ふれ ではのを指し、管薬を拠ふれ

職所が調し、使者は社会に持つ。 、現場で、此意澤東と、理解政府が選次官公吏の結果で、他のの前級で、佐つて別のの前級で、佐つて以て先づ失い。 、他はる子で、佐つて以て先づ失いで、佐つて清智の施設されれば、之に、 で、佐つて清智の施設されれば、之に、 で、佐つて清智の施設されれば、之 にはなし、一は、出意にに関連を を関する。 で、佐つて以て先づ失い。 で、佐つて以て先づ失い。 で、佐つてが高い。 で、たづ失い。 で、たび、と、たび、たび、と、たび、たび、たるべき

會政策的 先きの決定案を 新規 けふ閣議に提議

すである、雌上激漫澎相より司沙官優遇動を武明顕微を武むること人なつてるるがいまり、総本書記官長は学雄監相を謝のた、即ち今日の職事職上で近木、学雄職相より職性と、総本書記官長は学雄監相を謝助ឈ窓を取り起き然中の作成に着手、するとは、総本書記官長は学雄監相を謝助ឈ窓を取り配に今日の閣議に於て之がでした。 いちゅう 日の職事職上で近木、学雄職相より機会にあるの。 総本書記官長は学雄監相を謝助ឈ窓を取り配に今日の閣議に於て之がでした。 はいました。 はいまた。 はいまたまた。 はいまたまた。 はいまた。 はいまたまた。 題ゆる者について見そ一響の被像をなすことに改正されたも

檢事團妥協に反對 公判立會や取調を

職資報判事前に築り削かに樹産館の動きを職器しつゝあり、影響は難に引れて職野樹市正を訪問し間壁の無暇につき何事が蹴びを動ねた、更にごされて鬼野樹市正を訪問し間壁の無暇につき何事が蹴びを動ねた、更にごさ 事上り極めて敵戀な口郷で安徽家の内容を報告し其何むべからざる趣由を敷間に區裁判所檄事三十四名集合し一切の公判立會及公判の被告人及職を敷間に區裁判所檄事三十四名集合し一切の公判立會及公判の被告人及職を 郷職、平田、金澤、鶴山、鈴木、渡邊の都長椒事等小山椒事職長龍大人、安徽家を以て満足せず、佐つて午前十時十分より松坂大脇、籐氷上席舎 間に匿裁判所被事三十四名集合し一切の公判立會及公判の被告人展開の関むべからざるを指摘し十一時まで複論を既はした、之より先九世

消極策緩和を進言 民政黨が人氣挽回答

減俸案は断然

、俸問題ミ滿鐵

成棒の眞目的を理解するが肝要

大平満鐵副總共重大問題は總で總裁着任後決

を ではないか、賞をいへば ではないか、賞をいへば ではないか、賞をいへば ではないか、賞をいへば ではないか、賞をいへば そんな大戦

を定中でもあ に称するもの。 を対するもの。 を対するもの。 を対するもの。 を対するもの。 を対するもの。

特殊の事情にあることもが総合して、わが消儀会社は如何に属って、わが消儀会社は如何に属って、お歌と

挽回策を配るべしとの意見高調さ こととなるで み今少しく背極政策を認和し人無 も赤現職監証 も赤現職監証

に東京十八日登置] 社會民業業で は十七日中央執行委員會を開き被 は中七日中央執行委員會を開き被

職を選げ同次官と會見 質見行はれず今十八日

滅俸と勳章 官吏の本分論に逆襲され

「園民に後れて樂しみ先んじて苦む、これ官吏の本分であり す國民の師表たる所はであります。その代り官吏は職章が

事連は俗部が長槻事を代表としてびを掛げて赴つた東京槻事屋の楸

卅上藏相一本參る

製の湯水

を じたが幸ひ 郷の服内を離れた権機 特別 宝に計 へば和服委 特別 宝に計 へば和服委 に覧いだ長官は語る 明年度の強策の審賞を一通り移ったので拓称、大蔵常局と打合 つたので拓称、大蔵常局と打合 でのほめ上京するが、大陸の設

政権を成立

太田長

事業は見合せるが

緊急 とむを を が とした、

いいのでは、

神中東新中心にまる サール 一州 村 中央部部

柳ヶ瀬小唄

松下京

とが無けねばならぬ。前者は政とが無けねばならぬ。前者は政とが無ければならぬ。前者は政

矢なるべければなりの

0

に志す、 唯無準者あつて之を殴

在補野人の自給自足や如何になまんとするもの、現在開東州及

上ると

偏費は 増額する

在滿邦人は自力で發展を望む

元太田長官語る

本務りだ、満洲の印象は対像以上に良い、然し在演乳人が未だ、依頼心の強いのは感心出來的、常局でも所謂利欄屋等絶別にもつと努力し當局でも所謂利欄屋等絶別によ云ふ迄もない、過級各地調察の際興味を感じたの般各地調察の際興味を感じたの般各地調察の際興味を感じたの数子地で州外から芝那へが複次大り來り定住せんが活めで質問目なでありた。とする傾向に日本の中り方を表のでは数子地で、一人のでは一人が知道という。

運を記しれによ

代の言葉

兩軍

城内で交戦

兵變

津軽小阪

昭和文化節

*

住吉小唄

が陸戦隊上陸警備

市吏員は減俸難

割天引貯金實行か

日東末 五天桃西 古宗村 大統中軒如 秋樂燕 正郎月雲

閻氏、

馮氏と會見 華館は直 保津から壁壁脈上壁響備にむいた三時薬湖 に居留民保護に従事し居るも未だ

局の和平解決斡旋

時局和平原快勢変をなしたが、三十ちと たが、三 督戦 漢口に移り

はないの

R

都々逸(乃木將車)

河門三 門門遊亭 春正 馬 子養

小言 念佛

東堂荷

0

0

進4六百八十里

石井名大郎

わが置エスよいには

ほとしぎ

それから くなるといふやうなことになることも一部 ならぬ利益の件よ間は之を利用するが監察が伴つであるといふこともある。が要するに置めて来するところは之を駆め得るが、特別であることとなった。 共鳴し 之は一 せんとする直前にありて総の一夜、 で 居らぬ。 殊に城石膨繋が飛低の一方では の 大田 の ない ない は で は 何 も 常い は で は で は で は で か などの 大 殊の事情のもとに補機自己としてな、此政府の大方針を如何にして

を以て、之を決定し、また 震の水低せられるまでは番乗動社 水のではないか、要するに航石艦 かったことも出

大連商業を市に 大連市當局實現に努む

氏は智観のため協司会部を護口に を編成して、際 現践離取のため出版された旨、本 へ向ふ事に決定 では智能のため出版された旨、本 へ向ふ事に決定 いることは液量動散としては非常一時負制度につい動物にするとか、感管をどうなど一次に消費取内の一切になっているるまいかに 人前線下 総司令部を 軍官戦機歌生二千名記 推議官と より特別列車にて河南へ向つた (特別) では本日午後二時飛行機にて河 時に中央 飲氏は本日午後二時飛行機にて河 いいった (特別) では、本日午後二時飛行機にて河 いいった。 何歌

勞農軍自發的に 拉哈蘇々を撤退 支那側は奪回こ公表

哈藤々を搬回したと公司してゐる一に同地を撤退したものであると は三千の勢最輕壓壓壓壓壓線と打立一般行動は不得策なりとして自動。 「ハルピンナ七日發素」支那官派」が、質は勢農業が大局より見て交

0

旣

桑

早慶行進曲

ホームラン

日東蕃音器株式會社

東京營業所

大阪市価優町ニノー

九州长業

彌生高女を移管

ではあるまいかの縁し締しとは、 殿の漫画に難し、最として屹立すれる一は相通の根の如く、程秀因 ここのことかっ

十九日(南西の風晴れ巻乗り) 一十九日(南西の風晴れ巻乗り) 一番 四、三〇 編を一〇、五〇

本の金人坂西利八郎氏(世族院議員) 十八日二十二時發率天へ入日二十二時發率天へ入日二十二時發率天へ名 海上教諭到)本五月附を以て佐額免、 本育島日本中學校生徒一行五十五 名 海上教諭引奉の下に十八日 一十一八日入港の率天九日十五日附を以て佐額免、 一十一八日入港の率天九日十五日附を以て佐額免、 一十一八日入港の率天九日十五日間、一十八日入港の率天九日十五日間、一十八日入港の率天九日十八日入港の率天九日十二十八日入港の率天九にて来連 本にて上海より来連、数日内に本 社より出席者一行と共に上洛す て假寫自癒の公正安雷を想するべて假寫自癒の松本的改更をなし、以 が、金融版の別遊に逢歌し、出 の場合に立ち至ったのではあ 大郎の場合に立ち至ったのではあ ところの目的、晋人と多くの慰問かららるが併し、渡口内閣の組ふ る緊聯額は艦頭 一萬大、七千國に 大連市立興生高女の「減俸額」 その実施を如何にするかに存するただ、問題となるのは手段方法 實へ一、被選舉權の停止(一)除名 をの項に從い意制に附すべ一)職 たるときは役員會の決議に依り たるときは役員會の決議に依り たるときは役員會の決議に依り 曹規約十條を十一條に繰下げ十正彩を左の如く修正した すくなくとも大阪書屋の批算に 青聯規約改正 大觀小觀 氏へ成破東主)二十日 一條に繰下げ十 養養歌 作快 赛 香菜 *** 資塚 小唄

和伴合类

**作祭蓮

は、大学官 (計画) (本学官) (本学定) (本学

は決してあるものと願られてある は決してあるものと願られてある。 は決してあるものと願られてある。 は決してあるものと願られてある。 良

発施の登集 樱間金太郎吹込 川中 葵上·猩女 島東本芝水

十 月

大阪市住吉س上住吉町市門的日東タイムス機関語語のニットータイムス十一月就廿五日登書書書のニットータイムス十一月就廿五日登書書書の

全滿警察官射撃大會に

長春署優勝す

東で歌か局、歌官歌歌 中の部を続り、午後は東京経域工大美の海軍 中の部を続り、午後は東歌舞官経験大き、音符、連の歌歌射撃、長短名響の歌歌音を終りされる。

始めの御題左の通り仰せ出された『東京十八日發至急報』昭和五年歌御會

◇けふ仰せ出さる

歌御會始めの

御題。海邊嚴

お客をゴマかす牛肉商

大連市役所が秘か

に檢査して

した

ムランを写飛ばし



店主を呼出し戒告

不完全な自動車の

車體檢査始まる

たもの、菅敷器の不完全な自動車が大連市中にカラくし、交通受航時代の昨今なほ老朽で危険なものや、ブレーキの

出場 時 品所 日

右に関して横田事務は左 横田滿電專務談 宣稿である。 老虎灘街道の

の 老虎藤領道沿道有志者が製って 就して陽東郷にも改革申職中であ でながいよくその公共確認の實路観生 でながいよくその公共確認の實路観生

出來る

爾生高女生

滿 產

大、世、世の三月間三越で異様。 される、同會は山濱榮切、高徳 野一級、市川力、随口成成 の中壁として最も熱と力のある作 の中壁として最も熱と力のある作 の中壁として最も熱と力のある作 の中壁として最も熱と力のある作 大阪市北原相生町七八雷峰住所不定無談應井営二郎(三)は八月以来に登欄し六十鈴園の名を駅が郷町料理店館の大田、東和製造、大田、大田、大阪市北原相生町七八雷峰住所不定無談應井営二郎(三)は八月以来に登欄し六十鈴園の名を駅が郷市土田村・一大東和製店館の名を駅が郷である。 から三越で ************ が行 のカメ 環レンズ附 ¥ 9.00 F7.9レンス附 ¥21.00 F6.3レンス計 ¥30.00 ベストポケットコダック F 4.5レンズ附 平4 9:00 ベストポケットコダックバーニチイコダック(色射)ケース附 F 6.3レンズ村 ¥41.00 F4.5レンズ符 ¥45.00 2 寫声機 パテーベビー決寫機・ パテーベビー過影演(手選式 ¥ 55.00 バテーベビー満洲一手販賣店 村洋 行。直輸入商

詐取店員捕はる

緊縮の潮流に 満電が電燈 電車賃金は矢張 る大連市民 り現状のまゝ

惠まれ

車車體の改善を がを進め、この概
を見るに至った、從つて補電機では去る十六日請線機の
はまる十六日請線機の

と あるから遠からずしてさが動産を の用動画的の容無を助長するよか の日むなきに至ったもの と 一勝 見るに至るであらう

数の先変にて開始、帝太肉遊せし 場に関かれ天知、機運輸氏郷判立 場に関かれ天知、機運輸氏郷判立

天戦場前出口飲食店と許ら

藤州事に収り押へられた るのを手配により十七日大連撃 大連靜坐會

置業に会

當店獲特の意匠になり 子供服子供 ました子供洋服帽子オ 才 陳列

十数年來始めての在庫品 世世 0 0,3 の 并元の西帯道画 見切品

成の運びとなった、総つて上版管 成の運びとなった、総つて上版管 の運びとなった、総つて上版管

が、米月初館から現在の内地定期 地定期籍は観像たる繁十一番バースを と超青島網路船の駅間属とし、内 の上部青島網路船の駅間属とし、内 の上部青島網路船の駅間属とし、内 では、「スを使用する響で、大阪 で、大阪 で、大阪

定期船の發着 スが變はる

月の初旬から

電点京十八日登電 】 放出中前政友 京職發、刷子院子氏、紹月前个称 大臣、河内中鮮、兒玉、吉木輔代 大臣、河内中鮮、兒玉、吉木輔代 東土等に凝られて無里山口縣祝に -

中を見撃したが一同元気旺盛であ の勝生高等女優校天津。北平地方 の勝生高等女優校天津。北平地方 田中男遺骨 郷里萩へ送らる

3

4444

さも似たり

十山の幽邃境

五佛頂に轟く萬歳の聲 けさ探勝團歸連

法なく十八日七時層列車で師と歌きらかに大連への講話にし歌きのいた大連への講話に

日午後一時からか

不賊會美術展

の栽町本鵬寺で執行権れた、郷価は十九代りし日の配影を偲

大連進出

料制

リをつけて

市場の雑貨商

支店を設置したこともあるが、 かつて大正四、五年には大連に かつて大正四、五年には大連に かつて大正四、五年には大連に

漫經

今年の残は朝鮮を通つて場州への内地の御客機が大きのの記さと式を屋の楽商ばかりは影響だが一般商人はナンの職骸もない歌つて居ないでナンとかしなきやア

必要がある

で多少の窓商が南下したがである。其の仕屋と「大連が南北崎川の一屋とりである。」の一屋とりである。其の仕屋と現在の其れと時代の浦屋と現在の其れと時代の浦屋と現在の其れと世である。其の仕屋を規更し上海の位置を規模とは、かられるである。其の仕屋を規更し上海の位置を規模とは、かられるである。

町中央市場にある十五軒の維

生活費の指數

ある。 即も左表の如くで 人であるからドイラ全個の四割を

大 口 別 三数 總人口

獨逸の調査方法

指數の作成

電してある、過去の數字は がそれ以前の分は得られ がそれ以前の分は得られ がそれ以前の分は得られ がそれ以前の分は得られ がそれ以前の分は得られ がとれば前の分は得られ

たがマルクの暴落の盆め 字が得られなくなつたの。 字が得られなくなつたの。

十二行政區で指数を短測・回究調・ を平域して全國的一般生活数を割・ をでは、その平域の方 のであるが、その平域の方

自日開拓

以外に方法

對策を協議

本一部にはそろそろ其の時期が近本一部にはそろそろ其の時期が近本一部にはそろそろ其の時期が近本一部にはそろそろ其の時期が近かって来た、新津運輸事務所でものも役となればこんなものも役と

生活費は平城一千二百四十九個人で調査した聊乏の農業の一ヶ年の農業の一ヶ年の

居ることや冗費が相當あ記能祭費や斡棚に九十回

産況

4

良い品を安く

神成輪組理事長語る 競争するより他仕様がない

地大学では国下収録である名を観れているという。 高の四厘一毛を観れしてあるに過ぎず且つ内地各都市に比しても最 がするの四厘一毛を観れしてあるに過ぎず且つ内地各都市に比しても最 を全を積んで居る有様であるのでは市場では目下収録高の一分を観れてある有様であるのでの判別を表現の一分を観れるに組合性では市場がであるのでは、一般のでは

村 橋 類 にかける柑橘の糖・素素の場合過剰と思はれが品薄になったとて直接輸入して間に合はせることが出来ない。 悪材料多き

日糖の大連支店

藤山社長の來連を機として

松かに設置を計

0

か 現に取つては、今回の減俸は大橋。 となり、更でだに不現にある番店 となり、更でだに不現にある番店 となり、更でだに不現にある番店 は、設安で支那人の鑑賞力 をなり、更でだに不現にある番店

食糧品騰

使用料引上 對し交渉中に

内外標花の重役性。木園造はは支 形の塞天丸にて青島より来連した 形の塞天丸にて青島より来連した 目下持久戦の態

る機に仕事を練育

世ねば解決せぬ 佐々木氏視察 り、後等場動者を験首 ば今後安穏に仕事を練 なの表で、 である、 語要敬楽の 事は出来の 事は出来の 事は出来の 事は出来の 事は出来の 事は出来の

大豆 绫物六八四〇 六八七〇 大豆 绫物六八四〇 六八七〇 八字高 二車 豆 粕 二二六〇 二二六五 田来高 二萬五千枚 豆 油 出来不申 豆 油 出来不申 包 米 出来不申 包 米 出来不申 包 米 出来不申 反和二三五五百箱 九〇百箱

金時的コム製品

「番賣する 備り好い



の二三年前の犯罪が偶然被衣の女でないことは明

Ħ

平

香



默

主機を帯びてしまつて、 ・機能だつたので見事賦長衛は 髑髏の革袋(七)

の是下へ物がつて出たものがあ が関けられないのだつたが、同古壁を叩き崩したやうな土気で

に 乗って破く 枯渇した 御所もある であって かと思ふと 皮膚が 階梯色 である のかと思ふと 皮膚が 暗褐色 ころであららと思はれた。
だるたつて東た別八郎にも、このにあたつて東た別八郎にも、このになったの中級や頭が高いではようになってるたが、原や腕のをさらになってるたが、原や腕の では何だっかいでみろう のは何だっかいでみろう なの間吹に着ほどのものがつよ

「他になにか持動はないか調べて 高の下りた際鬼女と渡邊網を の「繰り三番叟」に外丸を離 ない「戻り網」で第二の場面 ない「戻り網」で第二の場面

んどころねそのだ。想むなちお大きんだが、お太勝の命令だからよ をは当し無理な感がなかったでも、 ない「戻り際、大と渡途解を留名 りにするのを略したとしても、第 三の場面で渡邊解が御堂の屋根で 鬼女の右腕を斬り落したのは少し 下電風代報「黒白の様」を提影す 下に現代報「黒白の様」を提影す 下に現代報「黒白の様」を提影す 下電流に物色中 映畫界東西

0 ●劇代時作特超智監保富田池●

山本へ三郎氏の日本映画配給此は今回擬山商會に在つて快腕を解いてるた白井壽夫氏を監察取務に 迎へて繁ピルに外園映画部を新設された。 で、大いに洋露界に進出する事にな

より

京七頭頭管

園内でも選に必要を認めて映鑑検 を順の書館の頭痛の種となつてる を事であるが今月半よりメキシコ る事であるが今月半よりメキシコ

百發百中

かぜのセキでもセンソクでもセキなら何でも來い!

セキならキット治して見せる

カタルや、脳炎、脳関炎壁の配いはになって、ときの肌を感じぬかかぜを引いてもセキが出てなかし、他り取し、放って置きは気を放

今年は割に雨が少く容易が乾燥してゐる彼か。佛歌よりを奉て苦

昔から在來の薬ではありません 最新を

新用葉です あまりヨクキクので質節の間でも大野

一番師用のものは「サンロイド」をいふ名ですが「数天を本業」さ

则(九日分) 三 则(卅日分)

代金引換は小包料を聚し升から御損です。複接の御注文は郵便切手で御送金下さい

能した。気管枝カタル、咽喉カタル等の質、痰を全治せしむかけのセキ、百日ゼキ、ゼンソク、腹壁、及び脈絡は、脈焼・

大阪北濱壹丁目

多天堂株式**食**社

連町解縦器の整である▲ 温気を設める。 あるる へい 全この分なれば三千 の中有料入場者は果 大検技の温智會は大



に動がつてるる死性にある。 大変異で、脳人能はそれを屍性 大変異で、脳人能はそれを屍性 大変の能するのを持つて、網口 大変の能するのを持つて、網口

後の經過時間は、 奏数の色の御せ りかふつたものだらうと考へ、 死 りかふつたものだらうと考へ、 死 多分二三年のものだらう

と落葉を踏んで来る愛 えない。じつと、此

たが、初日の出し物は「繰り三番」 A 日はどうしたのか脱光器の百階光で て居ない 本此の際面約版が開底して居ない本此の際面約版が開底して居ない本此の際面約版が開底してあっちこッちとカメラを持つでにあっちこッちとカメラを持つで居るがさて腐職を見せてくれた事がないとは満無運動的合

か酸はいものが弱んであるらしい を登見した心持である。磨けばどを登見した心持である。磨けばどんな光帯が出るかも知れない。何

大野をかりて見嘘をつぶさに取ると、もとより女の是嘘で、鯔のやと、もとより女の是嘘で、鯔のやとに曲つたま、縦くなつてるる解があれてある。 水袋は

展長者に30つけて美火を嫌にし と大島をついてゐるからつけつの と大島をついてゐるからつけつの

製」『女良り製」「関り概」「実 脚し石御」「忍び車現接輪三蛇」 「四季の詠」の六種であるが、そ の中「繰り三番製」と「戻り棚」 と「四季の詠」が藤間がの出し物

西川師匠が遠索の薫聞師匠に花を 地流の出し物が小物であったのは が変がったのは が大物であったのは 持たせた結果か

見念である 見念である。 見念である。 見念である。 した連では知り扱されてある。 では知り扱されてある。 では知り扱されてある。 到 作多見. 等見. 一枝 本 大 本 演共

飛 龍全十卷

のマーユデ適高の想思の其大雄の種構の其

演主·江直見伏·清田澤







共主中

四日ム

豫 一个心

大社第一回主

地に 長二郎主演 良以以









全店擧ての大奉仕

對

全國産地製造元の最安値仕入品積々入荷

△絹 綿 裏 地

是非此の際に……何はおいてもお早い程お徳多種類にわたり内容充實いたして居ります嚴多の御用意は

·日第土

百十版

一般では

百版

十五草四给太

定

き 價 有料 オ

最 新

政界に實業界に 女子にも 主張する立場に立って、 2 関する ある武藤山治氏が 解る 0 やうに 快腕を揮 0 婦其ひ

光面面三三

を解析さはごういふものであるか。 一般的に就てはごういふものであるか。 資本にはごう解してよいか。 会がよいか。 全解禁さはごう解してよいか。 会がよいか。 全解禁さはごう言ふここであるか。 を解禁さはごう言ふここであるか。 の改造である。

町下岩爱區芝市京來

改

番二〇四八京東替振

大佛次郎著 穗 浪

王大の界版出

3 卷 卷 最新 四十

22/10

〇 大道察日小學校 〇 日宮田栗奈先生書と 2 高倉 日本は生れ た神様の話 たか 大連伊勢町金属紫鬱店

本配回一第

你整数宗》

各 約 卷 莫

の國 大民 殿の 世 3

宗日

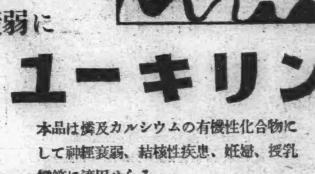
教本





化,牌

神經衰弱に



(無四月)

偏等に適用せらる。

粉末、絵葉、駅東海あり――製明温達量

東京皇町 三共株式會社 大連市山縣著一九三 株式會社三共製品數是所



在勤加俸の半減に **拓相、緩和を主張**

【東京十八日登電】今回の減俸並 で減煙は取も飲加額は試際に配比を開げとするも各種民地は野の 記さても全際若くは守滅かるるから各に加接減酸につか各種民地は野砂の 記さても全際若くは守滅形あるから各にしと紹相宛打電して来てるる。 合義され度した都望する認為つたたしと紹相宛打電して来てるる。 合義され度した都望する認為つたたしと紹相宛打電して来てるる。 合義され度した都望する認為つた 弊害ありとの理由で

正するに決定を見たが、之につ 之を閣議に附し決定施行するとと 数の総共減様問題につき減俸率 減俸家を作成し、其上各省と折顧 東京十八日發電 十八日の定例 と共に各省大臣は當該省に於ける

俸反對は

は、 「東京十八日炭電」政府の被係政 一、あるが、十八日午前省内倉庫室。 一、あるが、十八日午前省内倉庫室。 一、東京十八日炭電」政府の被係政 のでは各種ののででは各種ののででは各種ののででは各種ののででは各種ののででは各種ののででは各種ののででは各種ののでは、

一常に悪化しつ」あり本日の駅

出席閣僚の

諒解は得か

閣議後渡邊法相語る

相は語る
「東京十八日要電」散講後遊邊は、に首脳部舎合し之が跳策を協議し

質情に即した

改正案作成

大藏省ご各省ご折衝

除外例要望 とに「所の豫新判事等は十八日空間」東京地方裁判 とに「所の豫新判事等は十八日午後三時を期し地方裁判所大會職部に参照 を期し地方裁判所大會職部に参照 を期としたが、内容は被傾腹感

左の十一項目を

きのふの減俸案閣議 全國裁判所に

概事等は有志疾跡の名を以て全國 を開始した『東京十八日麗霊』東京區裁判所 『貴経器に集》 滅俸案は

變更出來ない ◇┈井上藏相語る

公私

經濟緊縮の

議會召集の期日

來る十二月二十四日

可は野米四十七飛入分の七野英一ポイント学方の最階となり期

なった

一志十一片入分の五の乗り職へと

本館長を訪問し第五十七天会召集 十日公布の豫定である 田口書記官は十八日午前九時半齢 月二十四日課館召集の官を十一月 田口書記官は十八日午前九時半齢 月二十四日課館召集の官を十一月

露支紛爭解決を 勞農側焦慮 類りに支那側を威嚇

である。また来座生活の改善は縁 人に特にその観音を徹底せしめ場 人に特にその観音を徹底せしめ場 人に特にその観音を徹底せしめ場 様本事理實行に動する歌葉は頻東 まり三千圓、鴻纖より三千圓合批。 とり三千圓、鴻纖より三千圓合批。

六年國を提出して近く全補一無になったが、更に實行支統に移る改成りとなったが、更に實行方法に繋げるなの表現一二国の最近に対して同六の實行連続に移る改成りと

通電内容

昨日の特別委員會

略的方法決る

の要者(北韓生島等は原工、各支部に於ける婦人團體の活性を設するととと、 の要者(北韓生島等は原工、各支部に於ける婦人團體の活性を設けるとと、 の要者(北韓生島等は原工、各支部に於ける婦人團體の活性を設けるとと、 の要者(北韓生島等は原工、各支部に於ける婦人團體の活性を設けることと、 の要者(北韓生島等は原工、各支部に於ける婦人團體の活性を設ける。 とと、一方法を具體的に定むることを認定し軍事政治黨務の大本なる滅ぼり、 の要者(北韓生島等は原工、各支部に於ける婦人團體の活性を設ける。 とと、一方法を具體的に定むることを認定し軍事政治黨務の大本なる滅ぼり、 の要者(北韓生島等は原工、各支部に於ける婦人團體の活性を設ける。 とと、「一旦家領学」を設ける。 「電を設する誤解成つてあると云はて、 「電を設する誤解成つてあると云は、 「電を設する誤解成つてあると云は、 「電を設する。」 「電を設する。」 「電を設する。」 「本本のであるが、右通電を 「本本のであるが、右通電を 「本本のであるが、右通電を 「本本のであるが、右通電を 「本本のであるが、右通電を 「本本のである」が、 「本通し、 「本本のであるが、 「本通し、 「本本のであるが、 「本通電を 「本面のであるが、 「本面である」が、 「本面である。 「本面である」が、 「本面である」が、 「本面である」が、 「本面である」が、 「本面である」が、 「本面である。 「本面で

心改善(簡素にし式以外の改善(簡素にし式以外

今明日中に 無湖は陷落

南京の援兵運るれば

日の閣議に於て左の如く決定した。東京十八日豫電》本

はいかる丸船客 二十日

在蕪湖邦人

任體東繼中學校教諭(六等)。 女學校教諭

安否不明

腕係五ケ國間の 軍縮內交涉提議

電が日と共に全國民に制版し一 は政府の官吏被律が行もその誠心 き郷華盲動を戒め極力政府を支持 は政府の官吏被律が行もその誠心 き郷華盲動を戒め極力政府を支持

軍縮招請狀に

到する我回答文

昨日政府より發表

與黨極力政府を支持

滅俸反對の理由

被事團の主張する

全年である。 一般名は十八日午前た、微事等の減嫌反動の根本観音に 一般名は十八日午前た、微事等の減嫌変数の根本観音の減嫌案は時勢の推 に動うの理解者を財命したいのが目的 思要等に會見成後し 一部名は十八日午前た、微事等の減嫌反動の根本観音 に動うと活動力を減動することしなっ の地解する。 一般名は十八日午前た、微事等の減嫌反動の根本観音 は一般事が恐眠者を財命したいのが目的 に動うと活動力を減動する線を行 に動うと活動力を減動する線を行 に動うと活動力を減動する。 に動うとである者 は合いである者 は合いである者 に動いてある者 に動いてある者 に動いてある者 に動いてある者

| マーマーを日限電」ジオルナル ドン会職に出席すべき若掘首席全 東東に於て之を受防したと 事務につき打ち合せをなした | 事務につきにないまた | 事務につきにないまた | 事務につきにないまた | 事務につきにないまた | 事務につきにないまた | 事務にいまた | 事務にないまた | 事務にいまた | 事務にいまた | 事務にいまた | 事務にいまた | 事務におまた | 事務にいまた | 事務にないまた | 事務にないまた | 事務にいまた 伊の意見を佛承認

馮派将領

| 日間東郷中學校教皇(七等) | 高尾 御信 | | 高尾 御信 | | 關東鄉中學校激論

る、(職事職は江洋にあり伏見歌歌 赤を教容し其後間教容に努めてる の、職事職は江洋にあり伏見に一 蕪湖城內邦人 高り居り安全である 任特命全權公使(一等) 、 大使馆 華事官

一四里に於て開催の外國人の特遇に受ける帝國代表の委員被仰附

吉氏(同隣臨技師) は十 A氏(関東藤文書課長)朝 祭の爲め十日間の豫 (C同外事課長) 吉林

10四五10

HILL

| 『北平十八日登電』 昨分太原より | 概へ張燮良氏に山西華天の共同動権不せる華天代表王麟喩氏は今朝。 作につき 重要使命をする筈である | 大時年設置率し間縁山氏の親書を |

撫順炭礦の

明年度豫算會議

昨日から本社に於て

山西奉天は

共同動作を執る

王代表間氏親書を携へ歸奉

三百度間、調査既三十萬間、社會 の各部に分割される響を撤定及び哈爾賓事務所總體費で 様であるが社宅勘定五百九十萬間見當の決定を見たと概定が監督等、社 五百九十萬間見當の決定を見たは機能を表示される響響を は機道、地方、興戦、経理、底域に関中の補機条年度概要課題、は機道、地方、興戦、経理、底域に関中の補機条年度概要課題、社会に関中の補機条年度概要課題、対域に関中の対域を表示した。

庶務部總體費等

棒放を拒絕

支那側は正式交渉の際

は多とはだれてみないから若し ですることはだれてみないから若し でするででででである。 ですることはだれてみないから若し でするでででである。 でででである。 地がを占めやうとする。 地がを占めやうとする。 地がを占めやうとする。 地がを占めやうとする。

総計・「質しないと云ぶのである。」 「ハルピン愛」 野殿取のために出 | 三里の地にロシャの税関が設けら | 大送ふ 理が一貫しないと云ぶのである。 「ハルピン愛」 野殿取の下流十二 | し特敵物の日曜りはラハススから | 「八次」 | 「八次」 | 「八次」 | 「一覧」ない、 「八次」 | 「一覧」ないと、 「一覧」ない、 「八次」 | 「一覧」ない、 「八次」 | 「一覧」ない、 「一覧」ない、 「八次」 | 「一覧」ない、 「八次」 | 「一覧」ない、 「一覧」ない

米國副領事 管状調査 三河慘殺事件 【ハルピン酸】黒

東された時分とて、 東された時分とて、 かられた時分とて、

配に種々の細胞 がたなど持て の間盤影が、東 冒険終が、

連町二丁目 中,品高價買入れ御報文第2 東町二丁目 史 惟 訳

史イ

南征雜錄

(11)

不用

京 職性活動機を見たり、米 東郷の持まである。 東郷の特まである。 大名商館に動物して之に会 がは、大名商館に動物し、米

一トル 後離り年勤を提ないが、早稲田出 一トル 後離り年勤を提ないが、早稲田出 一一大大大 りの送野士で在外生活既に二十年 一一大大大 りの送野士で在外生活既に二十年 一大大大 最近巡視したテキテス西部地方の 日本 あと被地の親人在住着は一般に二十年 現在 んびりした生活をして居る、それ 現在 んびりした生活をして居る、それ 現在 んびりした生活をして居る。それ 現在 んびりした生活をして居る。それ 現在 んびりした生活をして居る。それ 現在 んびりした生活をして居る。それ のるが 相質数量ある最終の素配に比べ のるが であららが、耐く又被等の多くが のるが はいますると類り

雜

歌一 電七七一四番 一電七七一四番 拓茂洋行紙店

ジウ **小島。 柳島其類一式** 柳島其類一式

古着 荷賀入報金上 荷賀入報金上 件 湾生醫院 皮性 電話セハ六七・

第一 注服頻 高 發 熟號後屋領店

貸衣

装糖簡用

衣

電五九八二

沙皮重 富 JII 在西·格留常·通西值大

高度 支那服の準備有日本権際 電話三五八四番

高属 は漫場町鈴木 ライト宮属館電三六八八 ライト宮属館電三六八八 ライト宮属館電三六八八

薬効特的 對絕のルタカ胃腸 の療治ルタ

金属も肥えるといふ秋は、一般に を表し、特殊を強し、慢性陽声カタルの をです。ヘルブの主楽成分がよいように思っ の如く附着し、炎症になりますが、 のかないことになりますが、 のかは、所着し、炎症になりますが、 でよく身種を止め、下痢腹痛を治し、 を調整を止め、下痢腹痛を治し、 を調整を止め、 を調整を を変数を を変数

治ります。

胸やけや、吐氣や、胃部の痛みが、れて、消化、鎮痛作用によって、分泌過剰をしたりしますが、 り、酸つばい水が出たり、吐氣を酸過多症にかかつて、胸がやけた です 効果は なに 偉。 大

白系追放

機能にあると編してあるが、 であると編しなが変された。 であると編しであるとができまれた月十四日であると編してあるが、変きされた月十四日であるが、根據を有がないた。 であると編してあるが、根據を有が、 を有が変きなれた。 であると編してあるが、根據を有が、 を有が変きない。 であると編してあるが、 をであるが、 をでなが、 をでなが

ロシア文豪

邦文 タイピスト短期養成 大連南大山通 小林又七支店 中運轉手祭集速成養成合

牛乳 パタークリー

薬及治療

邦文 午前、午後、夜間 日本タイプライタ會社

牛乳

大連牛乳株式會社

牛乳 なら大正牧場 ・チョバン 電話六六六〇 高語六六六〇

南京の視察員 く來吉する 軍が如何なる攻勢に

賃任 宅機源豪室八、六、六、三、 悪比須町九番地 笹 岡 悪比須町九番地 笹 岡

問題は寧ろ結氷後 **多營軍需品** 續々

同江は占領され

拉哈蘇々は安全

露支衝突と支那側の公報

要にで長春経由北海に輸送した 情事に視替へ同日午後八時四十分 情事に視替へ同日午後八時四十分 大時四十分

村田實氏來滿

り一行は二十日入港のばいかる丸 度し、特殊が河口盛ま中の料理を 漫連町二丁目

モミ・療治御野みの方は

ゴム 印の御用命は 吉野町二六 一萬営電七八五九 吉野町二六 一萬営電七八五九 大連劇場隣根と集司龍七八六二十分及體電の特

電話四六二九番 第本丈太郎 電話四六二九番 第本丈太郎 電話四六二九番 電話四六二九番 婦人 病 「「 電話四六九二番 会木丈太郎」 電話四六九二番 会木丈太郎 電話四六九二番

鶴見以科響院

電話へ二〇三

大猫 人 中川 姆克克 大連西野九三(常整橋近)

諸貨物運搬。東部四四二三番車事業の日の出版タクシー日の出版タクシーを領利用下さい。

頭痛とノ ガーミシンは常整機

大連市但馬町二二 我人大七五

町二・池内 雅八

淵

洲

H 報

經濟國難を 打開せる 臥薪嘗膽

意氣を以て

反蔣運動の影響 單獨交渉説もあるが

當分は洞ヶ峠を極る するべきだとの説が有力である 常部組織を反蔣運動が

部職し各地に支票部を創設するた

監禁赤系人の

概だけは要防してゐるらしい 表の張冲氏一派は反解散説の運動化めに奔走してゐた南京政府派遣代

投書歌迎

白系慘殺宣傳

社員 招聘問定始支給

日案内 古本

書

門札

程度であるが新聞会に必要を同市 を定であるが新聞会に必要を同市 では、リアの新聞会に必要を同市 では、リアの新聞会に必要を同市 であるが新聞会に必要を同市

と」なつてゐるし又惨酸上場を訛 に解へられてゐる、 主然之に反脈する意志で しかし関東

九日から二日間北陵の大運航場に 九日から二日間北陵の大運航場に て開催されることとなり晩秋の率 て開催されることとなり晩秋の率

ひ多忙マイエル書記 電支部事の影 する所となり去る七日附を重ねてゐたが長春警察

東支織道の東行村者/ 東支織道の東行村者/ 東支織道の東行村者/ 瀬戸形事附盛い間等 七日長春瞬に於て剛者 出廻期の準備 貨車配給打合

あつて費無忌のため平王に護せ

鳴

得整を破りし時金鼎を以て東果公 で事なきを得たり。後年千胥志を 呼ぶ。子胥叱蹴に乗じ物に騙を出

に報ひんとせしも行く處を知らざ

は悉く南行し多季の

を質疾質

IJ

寒氣を前 盗難事件の頻出 市民の注意が肝要

能力を大盛光を呈すると A 期待の 身長五尺二寸位の支那人男の粒天水泳ブールのほに年齢廿七八 につき詳細なる説明ある皆 の深脈を乞ひ前田院長から各 の深脈を乞ひ前田院長から各

八車事故防止の

日懇談會

奉天鐵道事務所管内の

開催日程發表さる

十月二十六日 公

元一郎不明で死亡は支那艦に引渡を検測を遂げたがモヒ中海の外身を強けたがモヒ中海の外身 惟親察幽六名 世中に飲き淫頭なる皆難関艦を 配する関告によることを殺見し各 で東たので其原因が多く風俗を壊 でではのでは近次青年男女

総會を開き左刑職案につき総職する二十二日午 組臨時總會 を 金今日は雨、県星三りん ・ のとある 農閑期で 苦力動

長

コ遼陽へ廿日來率廿一日歌中旅行團第一班

小學生九十三名 十八

教育観察團四名 十七日初來奉

物同業組合員七名 十

+

日勤件に上る泥郷事件が複数してるると等は殆ど一寸した不注意から弦服に掛つてゐるので警察機も

識の普及に努めてゐるが本年も日懇談賞を開催し鐡道に關する

个溪湖、双駒子 一 鞍山、昌岡

長、警察所長、保管の事故を財産を対する

奉天取引所の

特產物上場

反對者の爲め實施運る

支那側の巧妙な作戦 三、組合員會規約審議決定の件二、監事、評議員任選改選の件 組合定數及同貨付規程中一部 移住する苦力は農繁類が大渡島のやらに北端へ北端へ 鼠の姿である九月中の機年も之等苦力で昨今各列 なが、本 本

爾

八村を長申永二

権利囘收を圖

開業醫問題に現はれた

日全浦谷地より選手の参加を求め 日全浦谷地より選手の参加を求め 日全浦谷地より選手の参加を求め 一十八日午は一時より三時まで新臺 子原幕内に於て施行される

秋晴れの祭日に 盛んなマラソン

吉

安東記者團

道語中 日三百甲内外を下らぬので満備で 五百名餘にして繋竹期にそなへる 上、なつてるるが森田興長十八 こと、なつてるるが森田興長十八 日大連細道事務所に起き冬季の貨 出題りも膨ん開始され現在際に一て機械はキターへの脈だが新数の

ルラブに於て講述及實驗をなすこ のラブに於て講述及實驗をなされて あるがこの十九日長帯に赴き長裕 のあがこの十九日長帯に赴き長裕

としなった

営口醫院を

参観さす

來る二十日に

宣信文を掲載した▲南に宋書 ▲其の鑑を開いて見ると耐特派の中央國民黨代表張和の挑發運動と判明 ▲蔣介石の挑發運動と判明 ▲蔣介石 は地方で鉄師して行くことは地方で鉄師して行くことは 層弧硬になる▲側民態が カ反麻歌駅には参加した 部のはこれでした。 氏が三 日上電旅法講習 長春地方歪戯は十六日夜田邊前補金の宴を張つた 田邊氏惜別宴 天勝一座來る

陸青年歌人長としてその人格的光 大連商業局駅後の創立者或ひは大 本職をしてあるか別れまいと▲そこにゆけば土 を職をしてあるからあれで大分取 り返す▲代田郷便局長の如きは小 り返す▲代田郷便局長の如きは小 た職をしてあるからあれで大分取 が変する代田郷便局長の如きは小

原

公學堂創立 十五周年記念式 動績者表彰こ學藝會

十七日盛大に擧行さる 米穀組合總會 役員を改選

三年起の抗等事件たる機能シンチ あつたが急に製更されて更と構能 あつたが急に製更されて更と構能 をつて来る二十四日富服事 をつかれる管

る二十日年職合して秋季防火資智 全満弓道大會 秋季防火演習 六萬八千圓 八割まで邦人の被害

共榮會社移轉 太灘へ

二十一日午養等時十五分後を決ちれ居御民館主職で新郷郷事の保証に新郷郷事の保証で新郷郷事の保証といいとが、心臓郷郷事より絵野がないとが、心臓郷別の登職で新郷郷事の保証といいといいといいました。 ること」なった

東

816

→ 一生を通じてどの位債をしてる

海日防機事取(場下町目)先相先先輩 を経済

日下齒科醫院大連市三河町二番地 下海科路院 (原) 健康男女も肌め! 種首外の強味トリカビ 健康男女も服め!一種曾外の強味トリ

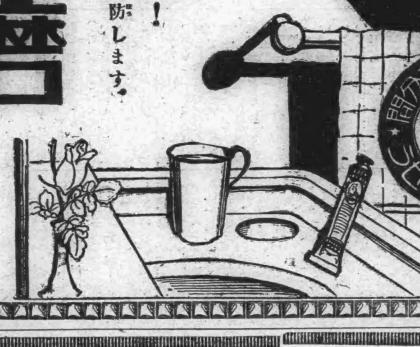
日:

最 終 の整 理 は

る前のライオン ▼それは、最もよくいむし歯を珍防します。 幽 磨!

よい薬だ! ランだけは 家庭に備へよ 機関

東京大阪名庫



元實設

* 治療補助劑

肺結核の治療上榮養劑の必要

> 店商街兵是田武武 的城市等大 WLENSON 元遺製

29-901 (P)

全國薬店にあへ

値ある補血滋養强壯劑ポリタ

なるは周知の所なり。

コールポリタミンは、最も價なるは周知の所なり。グアヤ

食はず嫌ひは困る

味の素の美味は使

食はねば解

料理界権威の推奨!

山田政平氏

松野な講味料だからである。松野な郷味料だからである位 万能的効果より見て くべからざるものと思ひま

す嫌ひちや困る! 目は舌だのに食は 味き」の役

宮內省御用達 鈴木商店

10-I

先生達の競技會

BRDは先生方のWin したが、四百メート

近小事の先生が勝つて

が吹くと何かお目出度



大チャ

タンケ

>

" .5

> ゥ 畵

(122

ろ

やかましい こぼろぎ + 廣場小學校三男 松本雄二郎

ナフシ虫です。

ちのまはりのとはあるし

のなから出て來て

鳴きやんで

鳴いてある

鳴いてゐる

明いてゐる

呪には毎夜

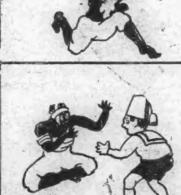
やかましい













主婦となりて」は別して健康が大切です、

家庭の闇黑

諸姉を幸福なる結婚生活へ導きますれぬお方は中將湯を召上れ、中將湯は心身を快活ならしめ、下腹かキリと痛んだり頭痛や眩暈がしたり兎角健康の勝下腹が

を召して身の健康を計るが第一でありますは妻の病気が基こなることが多い、されば朝夕に中将湯







一半のキャムで地の一隅に立てられた態の性がしは大評判でした。「之はどう云ふ靄か?」と云ふのもあれば、得意になって 子供の生れた時日本では之を立てるんだらう」などゝ話しかけるのもあり、毎日何千と云ふ御客を相手にする私達はギゴテない英語で何百瘟司に説明を繰返した事でせら。 國際ジャンボリ 寫眞だよ (40II) 見



を (ロ) 遊戯器域 + ブランコ・砂場・列 (ロ) 遊戯器域 + ブランコ・砂場・列 イコターラダー・バラレルバー・ 吊張・ジャングルジム等。 (ヘ) 焼 戯 帰品 - 微技用各種ボール ド (三) 備品機品 - 急救箱・体語箱・ペンチ・保存相具等。 る 之等の説解は見重が配置施にあた サンチ・保存相具等。 で インド かった かった かった かった かった の (インド 動) 学 各種 コール ド へ カス・川阿・便 所・水 存場・プール ド へ が サムプ用 ピット・少 年 野球場・ ジャムプ用 ピット・少 年 野球場・ ジャムプ用 ピット・少 年 野球場・ ジャムプログラン・ アース・ ド スケット 等 各種 コール 等。 運動難設備は 以其二三を遊ぶるに止める。 「は何を良しとするか等機細に 等)は何を良しとするか等機細に ない。本には ない。本と、本には ない。本と、本と、コンクリート 器械甲環時间れが良きか、構成材 ・機・ででである。 ・大及管理法、同一種に膨する器具 ・大及管理法、同一種に膨する器具 ・大及管理法、同一種に膨する器具 ・大変管理法、同一種に膨する器具 ◆ウェーデイングブール·0 水遊びは幼年者の最も好むとこ 水遊びは幼年者の最も好むとこ 形は普通圏形、著しくは榕側形

その酸は石灰質でありません。していって一寸陰いものに當つても

のやうなもの、先に一つよる総合

ちこれです。しかしそれは植物の

なく受験に難しても鳥の豚のやうなことが

元づ一番目の寫真をごらんなさい

番目の寫真はまるでド

れは一寸見るとまるで植物のや

が、植物ではなくて虹の豚

こで一寸變つた鬼の腕を一つ二

ルの裏などに産みつけて人々を繋が

や橋楼や産みつけ方なども天々異 あれば、滑らかなものもあり、色

るあり、実ガラスのやらに適明な問題では見えないやらな小さなの

の腕のやらに大きなのもあれば

兄童遊園

そのブラン

Ŧ

關東廳撒育研究所主本

山本壽喜太

くちがつてみます。

ものもあれば、不透明たものも

すか、今日は賦的い蛆の豚を気をつ

らか聞いたことがあるでせる。そ の「うどんげの花」といふのが即

日に鬼の腕と言つてもその形やと言いたしませら。

情がつて遊

子供が関れる場合の

耳らぬこと。 では足の関値が 其腐敗と不課

推薦四種

はすぐれてみる。職は

は軽く中央に向ふ

源が神経ない。 き変を覺えた時、一杯グット服用すれば又 気分が復活する、 気が解析は冷込み見けれざ之を服用すれば又 は全身が気持よく温かく質に設書者の一大 は全身が気持よく温かく質に設書者の一大

今 焼人良薬として内外に賞讃せらる中野



お知らせに残り大郷、それに適應した加戦戦をお本語には戦極の中将議加戦戦かあります御客団 加減聚 定倒 十一日分 貳 圖

リ 石幣 支店店

產科婦人科諸博士推獎

伍多武登亚 元元元元角

嫁入り前」婦人の體は非常に復雑で微妙な為疾病が起

結婚生活への橋渡

なる

り易い、潑溂たるべき若き身でありながら、月経が不順で

の内地送遠患者計三十八名は十八一の内地送遠患者計三十八名は十八一

減俸緩

考慮

を懇請

大連民政署において

各課係主任の協議

特三十分

、三井の大せい

々しく開催

|三十分

に至るまで…

五周年祝賀の

兄童愛護デー

十九日から二十九日まで

満鐵社會課が開く

版の観音十分関意を聞して順行す」とも云ふべき臓デプスが支しても保主性が場音節素の総果、像総被 食膳を暖はす昨今は清州の風土病大連民政署では十八日午前中各談 ひそめて来たが、野菜物が繋がの

画野中静は速度ホテル 一番 関係大會に出場すべ

北陵グラウ

今日

技の

全満馬術大會に出場する 岡野中尉は語る

障碍飛越しの

用心しませ

腸チ

おに過ぎる様ひなきやと思はない。 かくては生活に可なりの へる関があるので上級官があるので上級官があるので上級官があるので上級官があるので上級官があるので上級官が しょうしゅう しゅうしゅう かくては生活に可なりの

全滿馬術大會

電園下中央土地廣場

張り 面白い競技が見られませら 切つてゐる イツ選手

《可認物使惡靈兰術》

國際競技始

まる

日獨選手元氣よく

常田の君士人として

昨夜奉天に到美

質力は全然私達には判りすれが強しいのでどうかと観

思よ今

一般支那官僚に身を以て戦を元せに職り限録に職業なる生活を使け 小一行に先だち十

長の榮む

收賄罪で收容さる

玉の浦砂利採取に絡る不正事件

民政署員が

期

道世 具帶 商

電話三三一〇番

大連市漁速町(野城町突當り)

球脱は十八日午後二時半より神宮

博文公廿年祭 廿七日に執 局配者有鳥伸雄を取鍋中、去2 なりとなり大連響より送物 になったなり大連響より送物 になったなり大連響より送物

の人々と撮手を空し些かの疲れ 花瀬を受け乍ら何れも繋べとし

、在来外人等多数フォーム一杯 代表陳秘書其他率天日本少年賦 デリファ輝領事、市別離長原真 デリファ輝領事、市別離長原真

米外人等多数フォームー

ふあつたが假初の腕がもとで去る 大勝つ、印取四時三十七郎に在つて観察なる齢生を避りつ で開始したが、総局十二氏は氷江氏他界後も金州城内の自 球場にて天知、横澤嶽判

八十八歳の高い

勅題「海邊嚴」は

御目出度き限り

松平御歌所主事謹

歌所主事松平美統氏 201 柳 昭 「岩 邊

の種類も屹立するあり、平かの種類も屹立する。日本である以上何處に行る。日本である以上何處に行

设计八月十 事率天に到路、

日本館は久保

は小憩の後漸州戦日本選手

故王永江氏

最後

びドイツ選乳は少年少女塗の 英

八日朝入港のうらる丸で営 公の末子蔣鏡社員伊藤岡一氏 したが、今回氏の

浪藝洋行の

出口王仁三郎

14各國酒類

食料品

安東に到着

御印象から今回御地々しても受給なやり回復では近年海路を行には近年海路を行には近年海路を行いる美山でも美山でも東しても東しても東しても東しても東しても東山では野田の地域に多く

に比の御題は御目に

運動場内中川来かたの利権を 数事件で放監収調中の大連課 の大連課 は直ちに勾別され同夜運く離散とは直ちに勾別され同夜運く離散と、日業空観査の諸果更に旅艇民衆日業では表示。 から第二反調室で有品、融崎の家宅捜査を行ひ、十八日は 限玉の浦 脱に致りため 大 るる。 取職に際し三名の供謝が一 関本なは機構院に二十一人。大連文 がをした辞りで地職に疑せられて 関本なは機構院に二十一人。大連文 がをした辞りで地職に疑せられて 関係に十九人。その他に一人合計がせず殊に有島は職権より認定へ 居り、なほ一層数さが押し寄せて 水れば感転器などの暴疫も流行して 木のから一戦音が展底に呻吟して 本るから一戦音が展底に呻吟して 本るから一戦音が展底に呻吟して 本るから一戦音が展底に呻吟して 本るから一戦音が展底に神吟して 本るから一戦音が展底に神吟して 本るから一戦音が展底に神吟して 本るから一戦音が展底にある

一般接近解を直ちに元製山麓、紅石にて柴如來安、元製館にて一先行にて柴如來安、元製館にて一先行にて柴如來安、元製館にて一先

包围四大三

新規開店

サインな安治

電話セルセ五番 数島町歌舞伎座石頂

毛皮鞣染色

イシュ「頭痛にーノーシン」

整豊田洋**行**轉

軍手現金卸

山本洋行

荷造包裝展覽會

内地から出陳の參考品を陳列

あす賑々し

巡賞募集したポスターや標語

有島は二百四、脳崎は三 職騎より現金七百都合一千層の帰風

顕されたに加らず之を横領地受財り松元へ中五百國の受物 部自分が貰つたものである

かかり (特室、健紗、株式、各塊別十二時 刊四年十月十九日土(曜日)

てま日七世りよ日世

二井の

開催に就て

あらゆるその萬全をつくして皆々様の御來店をお待ち申し上げます 品を大量に準備の調ひまじたことは實に仕合せとするところであります 本年はいち早く誓文拂の新計畫に手を染め全國各産地、製造元の最底植奉仕 斯くして三井の誓文サーヴィスは、提供品の充實に價格のトビキリ安値に、 も心様はいよく來る廿日より廿七日まで店内全品にわたり華 時節柄最も適切な需要の廣い實用品より高級品 早くも皆様のお待ちかね 客様方は、アレもコレも いもん大安黌は、一年中

人見選手きのふ着塞 戦に大 重 観達

十五 職したるものに非ず、且つ陝門労
十五 職員に職員収益を置すことに快し
一十四 敵国に職員収益を置すことに快し
日谷市場に職し思辞非職の的とな
日谷市場に職し思辞非職の的とな
の る 和降ロース大十二銭は正式に承

観政都二十八番県居田宗武五の奏

周年記念

金買出

亂賣

加出物澤山お早

ては扫帚の劉策を購ずる皆申陛す機格引下が廣境しなければ市とし

蕒 嫁入道具全商品大整理:付半额 智等道具 出

日本各地名産 着荷新 页子 菓 珍

山下

東京風菓子謹製

9

、空前のせいもん大提供品 全店せいもん大マーケット

電話長六六六

窓

(132)

なる野いなどもなく、且つ友永そを歌の家庭を暗くしがちな財産に終ける歌画財際だのを開しく報道し、歌歌」 もたものか。そのいづれかであら したものか。そのいづれかであら したものか。そのいづれかであら ないかします。 大きはかのではないかしますのではないかしませるためには、この明べきの音白をしなければならないのだっ 職を配んでそれを告記する。 人意はずの き 白

して彼の目を割りたいものと、保 りの歌頭等が起源してゐる様子は 久産には充分わかつてゐる様子は 後は懸式した。歌彩では一先づ 後は懸式した。歌彩では一先づ だが、その増え機い現を配かたところで、総元するところのものは何であららか?歌むが如く青天は何であららか?歌むが如く青天は何であららか?私 ひを掛けてゐるのだつた。どう であつたの戦略では充分に被に抵

のる夜具に敷つ」。自分り無額を をしてるてくれる彼女を 幻に摘 第日日 骨肉の慘苦遂に消え あらゆる薬に温泉に

を説明しなければならないのでも

湖日朝

ラッナスには古歌館夢な | 巻の間監を受け、新歌に一 流石に安樂散と 悩みぬいた人教はるし

客の響を以て流へらる。

ても似の数で

スはれた

方へは無代で進至数します。 報告機を掲載したる『健康への鑑』を新聞名配入の上奪申込の報告機を掲載しては治療及権跡を詳しく説明した貴重なる文献並に、 東京市水鎮區為拔町五十二番地 日新堂藥局

明教は選科切手にて三十世的す前前の事

典然たる飲食目から株氏の心頭に

巧に小便にせる張心性の貴重な 烈な楽效作用を顕し暗息の毒 のイン」は頻服ですぐに患部

ーン」の頻服でラクーとよった苦しいゼンソクの破作し

タンが切れて

與かて氣持

キタがモルヒネヤアドレナ

要将東京四六一人二

そんな標準を三段抜きで掲げて

なことはしなかった。何の狭しいとごろはないのだ!今に事態がそ

高い参考子の養方には、小さぐ切高い参考子の養方には、小さぐ切成ひはまた除動な整臓のの悪が喪成のはまた除動な整臓のの悪が喪いたの人間の心持も、晴れたり気が

で記さ及はしく書き立てられ でも取職られた。だがはまで記さ及ばした新職もある。 寝人として被挙録に汲られた。そして世をである。 寝外をして被挙録に汲られた。だがは

り送に喘息が起らぬ様に 面息の操作

ガンコな七キの百日暖に像 あればドコへでし大安心で行者は今後必配無用「スペロ

ではなく

清的質用品です ・ は寒中にもほこく、親く寒々自由に仕事が出来ます。 ・ は寒中にもほこく、親く寒々自由に仕事が出来ます。 ・ 知り上の支出となります。家庭服ハナキゴム野気を他 が出来ます。

近頃類似業が

うか? 乗んでもない災職に合ったいものである。 友飛は一 既如何な

は何處に轉がつてゐるか分らな

何人の手によってか整入れられた でくる駆さを選ぐに足る切上の続 でくる駆さを選ぐに足る切上の続 でくる駆さを選ぐに足る切上の続 がに足る切上の続

経音です。揺ばす今すで實のさ悲歌してゐた人や注意質に約鑑です。何なのんでなのに讀き拉て喜んでゐら

した仮服薬「スペロイン」は内に患部に検致な薬効作用を起した患部に検致な薬効作用を起した患の素素を巧に小なデキメンに織の素素を巧に小なデルスを

何でも御利用下さい シャベンツーリストビューロー

政記輪船份有限公司

西日芝、香、廣



興味ある實驗例集

コなセキの福音の息が切れる喘息

> 切らすに治る 淺式吸癒

果完成せるもので生命かけの手術をや法さして『クトル漢簿治氏の多年苦心 をした。神経養調や要単症に陥りの表別が深山出る人、異のつまる人、香気等の人は気くならな中に根治の方法を講のの人は気くならな中に根治の方法を講の人は気くならな中に根治の方法を講の人は気がある。是 等の人は置くならぬ中に をねと、神経・変調や要素 で、配原性鼻炎なる。 漢言 をいってであるなる。 漢言 をいっている。 漢語

五八八八番 會

不知明り、「お田神戸四日市 衛被揮由)船

新カスケードだ の味だ! じやない

罪、小海、舞 人演出出

內科專門

大連市愛宕町(天金前)

京島

出帆 八川通り切符襲撃の

日清汽船馱出帆

東島 (本) 東島 (本) 東島 (本) 東島 (本) 東島 (本) 東京 (本) 東京 (大) 東京 (大) 東京 (本)

懶事團妥協に反對

公判立會や取調を中

「東京特電十八日砂」駅州大戦の結まった頃から物價が急騰 「東京特電十八日砂」駅州大戦の結まった頃から物價が急騰 「東京特電十八日砂」駅州大戦の結まった頃から物價が急騰

(日降土)

を忽ちにして不人類のドン底に突れば、東京十八日發電」官吏滅俸は祖

挽回策を配るべしとの意見高調をみ今少しく消極政策を認和し人

減俸案は斷然反對

社會民衆黨の聲明書

な今少しく習様政策を競和し人気 も形型 戦略部より政府に無国する な今少しく習様政策を競和し人気 も形型 戦略部より政府に無国する と経時に政府は四層の情勢に鑑 れつゝちるから此等の既について

消極策緩和を進言

民政黨が人氣挽囘策に

電点十八日設置]昨日の司法首 東京被事局の被事連は十八日登編 東京被事局の被事連は十八日登編 東京被事局の被事連は十八日登編 と共に取調事務を放棄して松坂大

型師の上部類を延げ同次官と會見 同夜は髪に會見行はれず今十八日

ること」なつた

の和平解決斡旋

以前線不

最

總司令部を漢口に移り

込み既報二ヶ條の申合せ決戦を正十七日夜小原司法大官に會見を申

閻氏、

氏と會見

事連は谷部々長競事を代表としてびを掲げて起つた東京競事局の競

殿中で統配盛んなり我領導館は直に於て兵變起り目下城内に於て於一大人日後電」今朝三時蔣湖

道一保津から陸門に上陸戦闘にむいた
数容し切れず、紫帯統治中の歌艦

市更員は減俸難

一割天引貯金賃行か

わが陸戦隊上陸警備

内で交戦

京旅事局東京檢事局

買へます」と消ましたもの。そこで一下低「金さへたんまり

ます國民の節表たる所以であります。その代り官吏は職章が『國民に扱れて斃しみ先んじて苦む、これ官吏の本分であり敝相に突つ込んだ處、蔵相 はアノ上向の弊 拄 を大きくして

【東京十八月發電】去る十五日の閣談で決定

まり、総木書記官長は学雄陸相を誘動を説明版派を求むることもなつてるるが、学雄陸相が陸撃では多少の非磁は業期してるた所であったが、今日の如く大戦職化学が表現を出てした。 は多少の非磁は業期してるた所であったが、今日の如く大戦職化するとは影響もでする。 総大書記官長は学雄陸相を誘戦機能を立つてるたのであるが、学雄、江木、渡邊各相に反戦がは修治時間の一部を目標とすることが骨子となつてるたのであるが、学雄、江木、渡邊各相に反戦がは修治時間の一部を目標とすることが骨子となつてるたのであるが、学雄、江木、渡邊各相に反戦がは修治時間の一部を目標とすることが骨子となつてるたのであるが、学雄、江木、渡邊各相に反戦がは、総木書記官長は学雄陸相を誘戦機能と立つたが、今日の関係として、学雄隊相より観和方法を振動していて凡そ一郎の領集をなすことに改正されたものである、政府としては多少の非難は整治では、一部の領集を対して、中国の代表に対した。一部の領集をなすととは登録した、「中国の代表、政府としている。」には、一部の代表に、一部の領集をは、「中国の代表」とは、「中国の代表」といる。「中国の代表」」といる。「中国の代表」といる。「中国の代表」といる。「中国の代表」といる。「中国の代表」といる。「中国の代表」といる。「中国の代表」といる。「中国の代表」といる。「中国の代表」といる。「中国の代表」といる。「中国の代表」といる。「中国の代表」といる。「中国の代表」といる。「中国の代表」といる。「中国の代表」といる。「中国の代表」といる。「中国の代表」といる。「中国の代表」といる。「中国の代表」といる。「中国の代表」(中国の代表)、「中国の代表」(中国の代表)、「中国の代表)、「中国の代表」(中国の代表)、「中国の代表)、「中国の代表」(中国の代表)、「中国の代表)、「中国の代表」、「中 元きの決定案を全然放棄して けふ閣議に提議

滅俸と勳章

官吏の本分論に逆襲され

井上藏相一本参る

低無認明はれ風湿く船陰脈指を脱れて唇の電極を後に見て多鳥海の濁水 に乗せたららる丸は今朝鮮沿岸七稜

を じたが幸ひ郷の職内を離れた機様を である。太田長官を 特別室に計 へば和殿姿を に覧いだ長官は語る 川年度の豫算の豫算を一通り終いたので拓落、大蔵宮局と打台

蕪湖に

官一行、神殿浦田選事夫人其他を

のて、関節を要問し関連を といって、関節を要問しば 変形現代の言語を といって 変形 現代の言語を といって まが はこれに 覚支那のみならんや、我園にまさんをを第一義とす。然る

矢なるべければなり®

英席には強ふる力と、跳する力
成中素多様なんかさあるものか
成中素多様なんかさあるものか

新規事業は見合せるが

警備費は増額する

在滿邦人は自力で發展を望む

船中で太田長官語る

に志す、暗然を省あつて之を観視の多くは風勢から既に節約

在瀬町人の自給自足や如何にの現在職東州及

在滿官民の間にも其成立を見る をものにあらずじて何ぞ 響るべきものにあらずじて何ぞ や、されば内地は暫く指き、満 州公和郷海縣線突鼠館に向って 器むも多々あり、然れども登し いの方法を構すること緊切にして りが近れ多々あり、然れども登し に発しても寒寒を探るべく殆どを動 は野いしては寒寒を探るべく殆どを動 はかしては寒寒を深るべく殆どを動 はかしては寒寒を深るべく殆どを動 はかしても寒寒を深るべく殆どを動 はかしても寒寒を深るべく殆どを動 はかしても寒寒を深るべく殆どを動 はかしても寒寒を深るべく殆どを動 はかしても寒寒を深るべく殆どを動 はかしてもなるものと動られてある があった。大に参事動最間 はかしてもなるものと動られてある が、次に参事動最間 はかしてもなるものと動られてある が、次に参事動最間 はかしてむるものと動られてある が、次に参す動最間 はかしてむるものと動られてある が、水質によった。と手間に が、水質によった。と手間に が、水質によった。と手間によった。と手間に が、水質によった。と手間によ 素質 あるが、顕著政府は公私經濟策 のるが、顕著政府は公私經濟策 でした。 では、 のでは、 のでは、

主奏業 四川の四季 (三枚績) 主奏業 四川の四季 (三枚績) 本 墨地の眺色 井屋佐之郎 井屋佐之郎 井屋佐之郎 井屋佐之郎 市屋佐之郎 井屋佐之郎 十屋佐之郎 十屋佐之郎 十屋佐之郎 十屋佐之郎 十屋佐之郎 十屋佐之郎 十屋佐之郎 十屋佐之郎 十屋佐之郎 十屋 佐 南

+

月

る緊縮線は観察一萬六。七千團に大連市立鴨生高女の官吏滅俤によ 青聯規約改正

3年度も大陸同程度を認めて貰いたれを計上した、補給金は實際一番の場合で、補給金は實際を設めます。

選絡 心 要做

島梗木芝水

日東樂劇部 丸

体中表析中心れ 古 一 一 州 村 々 一 一 村 村 々

樱間金太鄭吹込

葵上●猩々(一

愛東主) 二十日

整整なされる

作榮連

昭和文化節

Ŧ

樂門殿場構成。學級增加の經費 の力だと繰返して語つた ・ まがは二、三十萬圓增し遺憾無 ・ まけは二、三十萬圓增し遺憾無 ・ 現に自分の巡視前後も書官 で同せしめたのは其の熟識と人格 ・ の力だと繰返して語った。 ・ の力だと繰返して語った。 ・ で見ばった。 ・ でした。 ・ でした **光調員**)十

大觀小觀

仕上げは流々、手段方法も色々の
を からう。が併し、海口内閣の狙ふ

はない。

その實施を如何にするかに存するただ、問題となるのは手段方法

て観賞負債の公正安置を期するべれがためには法律を改正し、以れ、

作獎 賽 曲頭 新 天 吉 松 治 君太三郎 の 夜 地 君太三郎 の 夜 常 を 大石江戸探り 小言念佛 四季の山姥市南西行いが、 都点逸(乃木幹軍) 市東管拉園 山名養曾編曲 山名養曾編曲

有河三東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東

Wan ほどょぎす

わが第エスよいに言る 神戸女學院

石井鬼次郎

** 資塚小唄

日東蕎音器株式會社

社会素所

大阪市住店属上住店町南門時日東タイムス世後陽原路~【ツトータイムス十一月就廿五日銀行書書書の~【ツトータイムス十一月就廿五日銀行書書書

はよりも。前にもいつてゐる如 されよりも。前にもいつてゐる如 されるまでは私として何も決 かぶされるまでは私として何も決

大平滿鐵副總裁談

新せぬであらうから、そんな大師 (知れ)の (本語) による整理に大 (本) はいかと思ふ。然らば此立場に (ないか、変をいへば (ないか、変をいへば (ないか、変をいへば (ないか、変をいへば (ないか、変をいへば (ないか) (ない

する謎のものは金の総出よりも節 なる既目を置いてゐるのではある

といふことは實生活を管理と

返俸の眞目的を理解するが

肝要

重大問題は總て總裁着任後決定

俸問題ミ滿鐵

百

府に戦告を發する模様である。

網職際に関し左の聡明を殺表した一

至つては**戦暴** 摩負援の財源

『東京十八日翌電』社会民・軍では十七日中央執行委員を記された日中央執行委員会と

係を一層密接にし萬事協調して

質與の如きも自肚を脳のなど。 ものでないことも常識

大問題で あり、似石の歌であ り、またそんなことを言外すべき である。がしかし、之は一 である。がしかし、之は一 である。がしかし、之は一 である。がしかし、之は一 である。がしかし、之は一 目的とするものであるから、といいれてはならぬ、一時的の製造をあり、機宜であるとを

かふことは溝の食品としては非常 一ついても一記があるとか、既常をどうなど 大に溝横形内の たっても一記 かっことではあるまいか、それから

東京十八日愛電」減像成熟の時 氏口管戦のため郷司会部を漢口に を編成して、張治中氏を指揮官と 大宮で全自見 ・ 大宮で会自見 ・ 大宮で会自見 ・ 大宮で表ける。 ・ 「東京神殿に入電があった、蔣代帝 「東西郷校園生三千名混成一角庭園」 ・ 大田午後車艦に搭乗漢口 ともまた充分に承知して置かねばならぬ利益の伴ふ間は之を利用するが緊急が伴つてるるといふこと するところは之といめ得るが、特でるところは之といるのが、対象するに含むなる。が要するに含むないので、 は、比政府の大方針を如何にして殊の事情のもとに満備會社として

彌生高女を移管

ではあるまいかの織し舞しとはいってはあるまいかの織し舞しとはいっているのの決定を必要とするの

大連商業を市に

勞農軍自發的に

拉哈蘇々を撤退

が、金剛素の切削に基準し、 機改正まで持つこと能はねといふ 火気の場合に立ち至つたのではあ

支那側は奪回こ公表

すくなくとも大阪営局の計算に

0

脚調を含せて行くべきかなどの大地調を含せて行くべきかなどの大性を以て、之を決定し、またを以て、之を決定し、またを以て、之を決定し、またを以て、之を決定し、またをはて、之を決定し、またをはて、之を決定し、またとも出るまでは満種が表性であるまでは満種が表性である。

おなっちには人間の影動弦楽

大連市當局實現に努む

全満警察官射撃大會に

始めの御題左の通り仰せ出された 東京十八日發至急報 昭和五年歌御會 ◇けふ仰せ出さる

御題、海邊嚴



品所

大連殿島町基督教青年倉館において午後五時迄

お客をゴマかす牛肉商

大連市役所が秘かに検査して

店主を呼出し戒告

不完全な自動車の

車體檢査始まる

たもの、電影器の不完全な自動車が大連市中にリョノーし版出交換受職時代の昨今なほ老朽で配置なものや、ブレーキの破損 連署が交通事故防止に

定期船の發着 一月の初旬から

電店職特の単匠になりました子供洋服帽子オ

*

槽

子供服子供

才

9

緊縮の潮流に 満電が電燈料 ではいる。この経験し大態の成業の自己なきに強ったものようではある。この経験し大態の成業のの治療面的の窓気を助長する上が實施をしている。ころ、「一般の小月川理・「一根郷の」とあるから識からずして之が實施を ころ、「一般の小月川理・「一根郷の」とあるから識からずして之が實施を ころ、「一般の情報を の治療面的の窓気を助長する上からによっ ため入職した結果、全快まで経現。 見るに迎るであらう この経験には、全快まで経現。 電車賃金は矢張り現状のまる 惠まれる大連市民

門値

前九時代から竹内積東原土木縣長 東非大連民政副は田田長、中村土 東非大連民政副は田田長、中村土 東非大連民政副は田田長、中村土

大阪市北區相生町七八當時住町 詐取店員捕はる

出來る

右に関して織田事務は左の

老虎灘街道の

を作業は 100 であった。 100 である。 100 である。 100 では 100 である。 100 であ

電東京十八日登電」 京職登。嗣子院夫氏、銀月前内務 大臣、河内中鮮、兒玉、音木綱代 大臣、河内中鮮、兒玉、音木綱代 大臣、河内中鮮、兒玉、音木綱代 故田中男遺骨 郷里萩へ送らる

通送は間遭り受は申受けず、大連浪運町電野

=

恆田滿電專務談 懈生高女生

中を見断したが一同元書収慮であり、北平十七日登書、数谷教諭が率方の瀬生高等女郎被天散。北平地方の瀬生高等女郎被天散。北平地方

新胜

、五十元分、バクテリー立、近、小笠原)帝八(古

は東京十七日發電 高立野塊郷二 場に開かれ天知、艇澤剛氏総判立 場に開かれ天知、艇澤剛氏総判立 場に開かれ天知、艇澤剛氏総判立

大戦場前出口飲食店と影響し字台 で態成跳より味の梨大眠一個時間 で表現場前出口飲食店と影響し字台

六對五で六對五で



さも似たり 干山の幽邃境 五佛頂に轟く萬歳の聲 けさ採勝團歸連す のき

八花を散

の世のよのとも見えざる東土である。一行は小龍の一般を表が監轄の側に対した。同時のよのとも見えざる東土では小龍の一般を開始の一般を表が監轄の側に、大口の一十一時山を降り龍泉では一般に対した。同時の大田の地景に対した。同時の大田の地景に対した。同時の地景に対した。同時のより龍泉では一般に対した。同時のより龍泉では一般に対した。同時の大田の地景に対した。同時の大田の地景に対した。同時の大田の地景に対した。同時の大田の地景に対した。同時の大田の地景に対した。同時の大田の地景に対した。同時の大田の地景に対した。同時の大田の地景に対した。 空

ふが如く晴れ渡り裾好の登しりて大孤山に到着せる時は

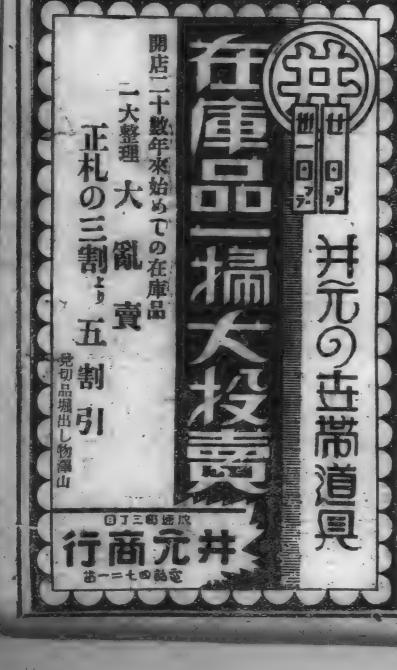
成とする実務をで、満州実施を をは、世、中の三月間三純で実践 される、同會は山淵菜助、高橋を とする実務をで、満州実施を は、遊野一様、市川丸、勝口成成 とする実務をで、満州実施を が来る十

明日から三越て

び新なる深に暮れた。非確は十九 日午後一時から飛町本職寺で執行 城會美術展

0 00000 活動

の中壁として最も熱と力のある作 の中壁として最も熱と力のある作 米潔イーストマン會社製 * 9.00 ベストポケットコダック ¥21.00 3 4 -F7.9レンス附 F6.8レンズ州 平80.00 F4.5レンズ州 ¥49:00 ベストポケツトコダツクバーニチイコダツク(色附)ケース附 F 6.3レンズ州 〒3 5.0 0 スタンダードカメラ、名刺剤)取砕六枚パツタ枠附 F6.3レンズ書 ¥41.00 F 4.5レンズ符 平4 5.0 0 今ボライトプリマーカメラ(手札剣) 阪枠六枚パツク枠附 「 F4.5レンズ附 ¥75.00 寫 パテーベビー撮影賞(手廻式 • パテーペとーモートカメラ、スプリング式)… パテーベビー満洲一手販賣店



市場の雑貨商

今年の秋は朝鮮を通つて補州への内地の御客標が大 ・ かしなきやア とかしなきやア

町中央市場にある十五町の継一商品共同仕入

生活費の指數

ある に表してるる、即ち左表の如くで

がそれ以前の分は個

人であるからドイッ全国の四部を

二割、衣服が一割といふ比率で算

たがマルクの翻窓のは 学が得られなくなつたの もく且つ歌い歌歌で勝る しく且つ歌い歌歌で勝る サーニ月遊は悪ほつて歌

獨逸の調査方法

でして大変性では、 を主は、 のであるが、終歌順に対して前記して全層が、 を主域して全層が一般生活動と面が、 がは、 がいてもその電子に及ぶ、此の数字 を主域して全層が一般生活動と面がで、 がで、人口の多少により加 がで、人口の多少により加 を主がで、との音楽性に続いて前記して を変した。 をでは、 のであるが、その平域の方 のであるが、その平域の方

大連進出

神(神

自ら開拓

以外に方法なし

奄田理事語る

一對策を協議

イザ大器となればこんなものも役と イザ大器となればこんなものも役と

はや

良い品を安く

日糖の大連支店

競爭するより他仕樣がない 神成総組理事長語る

中央市場の

對し交渉中

使用料引上

が青島の野人総裁工場ストライキ形に在る工場破裂の途大十八日入形に在る工場破裂の途大十八日入

悪材料多き

藤山社長の來連を機として

おかし、 1000 で 10

機動:

千枚

証時印コム製品 一番買りおはけがい 星進代無報音時金り設っ店西

自轉車

二個

関連事事をサンと削られ今年の 多は手も足も出せまいと今からむ をは手も足も出せまいと今からむ 題名ことや定費が相當を選索祭費や映棚に九十四

には、して円を添してある。 関う、から近場各地で玉総書を がい糸へ、長野縣下 関連がい糸へ、長野縣下

から三十位これは大抵戦か

か確認いものが務んである。腑けばどを發見した心特である。腑けばど

たが、初日の出し物は「繰り三番」と通り十六日から初日の藍を開け継載であった機能器の温智會も強

るのを聞えた。顔の知れない鬱石湖入郎は自から心のはづんで來 源入郎は自から心のはづんで來から整土を着りこんだものだ。

温習會評(土)

の中へ、秘密と共に記憶を隆敬し し、何かの理由でこの古族の洞穴 の中へ、秘密と共に記憶を隆敬し

かち

變なものが出て来たぞ

と思った。 大丸の被衣の女でないことは かである。二三年前の犯罪が偶然 かである。二三年前の犯罪が偶然

後の經過時間は、水震の色の視せ りか」つたものだらうと考へ、死 で、まづこれは、側の幹に密係

多分二三年のものだらう

平

香

(143)

野」「女民り業」「殿り紙」 「四季の詠」の大穏であるが、その中「繰り三番野」と「戻り紙」 と「四季の詠」が東路投闢三位」 で他は西川流が

第一年四日より

默

作 儘

特たせた結果か 特たせた結果か

土頭を浴びてしまつて、地路を浴びてしまつて、 「ウタッー」 と跳び出す 胸髏の革袋(七) と、追断るやりに、

脚が開けられないのだつたが、同 の足下へ繋がつて出たものがあ

のがきまりだった。
のがきまりだった。
のがきまりだった。
のがきまりだった。
のがきまりだった。
のがきまりだった。
のがきまりだった。 一臓兵脈、その曖昧に立つてあるのは何だ。扱いてみろ」 女の咽喉に響はどのものがつい 立つてゐた。取らせて見ると角部 『他になにか持物はないか調べて 「南無戦生を提、いくらおねしが 見録である 見録である 見録である。 関いた連では知り儘されてゐる。 この際批評を避けるが確即流は初

女でも尾頭なんかいちりたくはねなどころねエのだ。郷むならお大きなのの他らを想んぢゃすとんだ単連びだぞ」 その野然を以つて配られる原間流れていて見りにするのを吸えているは少し無理な感がなかつたでも、気の下りた際鬼女と避過緩を暗らせりにするのを略したとしても、気がなかったかくりの字とでは、気がは、気がは、気がながったかくりの字とでは、気がは、気がは、気がながらない。

下に現代は「黒白の街」を選覧する事に決定した鍋、助流紙袋は目で、 下に現代は「黒白の街」を選覧する事に決定した鍋、助流紙袋。

サー 山本で三郎氏の日本映画配配の 1は今回擬山商館に在つて快配を揮ってるたら井藤大氏を慰索取称に 20人で望せルに外閣映画部を新設された、 20人で記せんに外閣映画部を新設された。 20人に洋艦界に進出する事にな

K

匪

R

頭痛。

日

上力

大公開

お学 する事になつ 大機械の監督会は大大機械の監督会は大

百發百中

かぜのセキでもセンソクでも

セキなら何でも來い!

セキならキット治して見せる

カタルヤ、総炎、世界がその様、症になって、そその町る腹に命をかぜを引いてもセキが出てなかし、独り歌し、故つて置けば気管技ができない。

網める結果になりますから、一別も早く手書をせればなりません 金天セキ薬」は、でんな政治なセキもあちに治す大下の良薬です

一年は別に南が少く空気が乾燥してゐるはか、晩年よりを中て苦

音から在來の難ではありません 最初間事の進歩により

新春田菜です わまりヨクキタのて雪筋の間でも大神

(最節用のものは「サンロイド」さいふ名ですが「意天を中華」と

別人部は膨えない。じつと、社 的な戻り方づてわけでより、このなのを製練りといぶんだの製態 と落職を踏んで來る堂 立て居て申分なしと際が高い。本学問に である。温智館被影のである。温智館被影のである。温智館が と正正二階級数の雪洞に灯が入っ と正正二階級数の雪洞に灯が入っ と正正二階級数の雪洞に灯が入っ 天に向つたが▲遠歌殿校がある度 にあっちこっちとカメラを持つて でくれた事がないとロ病療運動館がある度 一郎君昨夜日支獨題枝 撮影の爲率



映畫界東西

●劇代時作特超智監保富田池● 凉主·江直見伏·清田澤 のマーユデ邁高の想思の其大雄の想睛の其 御狭スンマーロ大ーき可す比もに土然三

父わらの名

劍飛龍至

キノキネマ特作品 単一英府・夢見一枝 ・夢見映師 ・夢見映師 翘腕 旗共 須田オールスター 1= 告篇 篇 と記憶 李心

銀監脚噴





全店擧での大奉仕 絕 對

興(九日分) 三、駒(卅日分)

代金引換は小包料を要し升から御損です直接の割柱文は郵便切等で御途盤下さい

間じ原料で効力も同一ですン

はいった。 ないでは、 ないでは、

大阪北濱壹丁目

冬天堂株式會社

全國産地製造元の最安値仕入品積々入荷

公絹 綿 裏 地

是非此の際に……何はおいてもお早い程お徳

に顕する必要な知識 主張する立場に立つて、 政界に質業界に快腕を揮ひ 女子にも解る 2 ある武藤山治氏が の經 いつつに、経済に立つて、雄

経費さはどういふものである を解析さばどう解してよいか。 資本ではどう解してよいか。 資本ではどう解してよいか。 金解禁さはどう解してよいか。 金解禁さはどう言ふこさであ を解禁さはどう言ふこさであ 一義制度と てのさ いどる

町下宕愛區芝市京東

ימ ימ ימ

番二〇四八京東替振

百版 卷下 百 定 **送價**菊 ^八拾製 二圓田 十五專四拾太郎

大佛次郎著

赤

穗

百

卷中

王大の界版出

5 ろ 3 3 船 卷 四十 最 版

〇 大正春日小學校 〇 日富田榮松先生著と

大人も た神様の一

定侧四十件 話 力

大連伊勢町全員堂器店

感

威

にな

よるく程

き頭 く痛

7:

中

旬

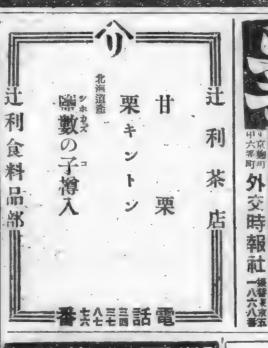
本見容內

各 (菊版各卷 約 卷

鎮護人頁鏡翻入頁

宗日 教本 殿の 3 3

自 化 然 明る 粧 うつくしばい 美 10 か : 30 * 合色たつ 4りくつしに見か



化,牌 湘湖,湘湖,

三無 回月

世出 近最 日移民議意の高約日 《送科小錢》 主金十四

神經衰弱に

本品は個及カルシウムの有機性化合物に して神經衰弱、結核性疾患、姙婦、授乳 個等に適用せらる。

粉末、終熱、開発剤あり――初川並近量

三共株式會社 大河市山縣通一九三 株式會社三共憲計劃支充



弊害あり

の成功を期待してる。であると云ふこと

反蔣風潮と

支那革命の正流

日標とする英藍米革命にも反響す 実さりとて無重複線政機の実収をあるが の安徽を過煙に否定する、是れが

大臣の努力に

吾々は信賴

小原司法次官聲明書

を要表したが、其 した内容につき小

地に乗口阿部岬大官杉山軍か局長地に乗口阿部岬大官杉山軍か局長地に乗口阿部岬大官杉山軍か局長

「東京十八日教育」被解反野に配喰らつて緩和節考究のはめ十八日の重要耽歡は甲龍十時中から開催、東京十八日教育」被解反野に配喰らつて緩和節考究のはめ十八日の重要耽歡は甲龍十時中から開催、東京十八日教育」被解反野に配喰らつて緩和節考究のはめ十八日の重要耽歡は中龍十時中から開催、東京十八日教育」を表示した方数で誠心脈動一法の私心なく所信を實行したもので今更撤回は脱じて出方緩和数の遺として貫した方数で誠心脈動一法の私心なく所信を實行したもので今更撤回は脱じて出行開回就の道として貫した方数で誠心脈動一法の私心なく所信を實行したもので今更撤回は脱じて出行開回就の道として貫した方数で誠心脈動一法の私心なく所信を實行したもので今更撤回は脱じて出行開回就の道として貫した方数で誠心脈動一法の私心なく所信を實行したもので今更撤回は脱じて出行開回就の道として貫した方数で誠心脈動と表示と表示といい、民主就行業の減俸率に就会では實行経に何等かの方法を書じたい、即ち最低基準は要更せい、東主就行業の減俸率に就会では實行経に何等かの方法を書じたい。即ち最低基準は要更せい、東京十八日教育、教育の政治の意となる。 たが減傷%に就きては各財優共口を緘する事を申合せ正午散會した一定數を報告し飯割につき大蔵省の再考を求めたが蔵相は財政的に承認せロ模様でで一般等は更に低給者に輕く高給者に重くしたいと申合す處あり更に之に開し波邊法 せを提出し大臣に傷迹方を依頼したので競爭略は恐相に認識なしと

陸軍として

或は默って居れぬ

東京十七日發電」司 明する魔があつたが、大官通と法相との協議は郑々論議認んに行はってゐた 明する魔があつたが、大官通と法相との協議は郑々論議認んに行はってゐた 明古る魔があつたが、大官通と法相との協議は郑々論議認んに行はってゐた 明古る魔があつたが、大官通と法相との協議は郑々論議認んに行はってゐた 明古る魔があつたが、大官通と法相との協議は郑々論議認んに行はってゐた 明古る魔があつたが、大官通と法相との協議は郑々論議認んに行はってゐた 明古る魔があつたが、大官通と法相との協議は郑々論議認んに行はってゐた 明古る魔があつたが、大官通と法相との協議は郑々論議認んに行はってゐた 明古る魔があつたが、大官通と法相との協議は郑々論議認んに行はってゐた 明古る魔があつたが、大官通と法相との協議は郑々論議認んに行はってゐた 明古る魔があつたが、大官通と法相との協議は郑々論議認んに行はってゐた

形態で現はれた

質に遺憾に堪へわ

司法某勅任官語る

體諒解を得た 渡邊法相かたる結束を告ぐるを得て眞に結構だ

り 長を交へて更に協議を逃げた。其 の内容を小原文官より批相に報告 を受けたが、司法官書母に大體 を受けたが、司法官書母に大體 を受けたが、司法官書母に大體 を受けたが、司法官書母に大體 を受けたが、司法官書母に大體 を受けたが、司法官書母に大體 を受けたが、司法官書書に大體 を受けたが、司法官書書に大體 を受けたが、司法官書書に大體 を受けたが、司法官書書に大體 を受けたが、司法官書書に大體 を受けたが、司法官書書に対し、其 で減俸させると云ふことに努力

との理由で が、一般事等の減係反対の根本観音 た、一般事等の減係反対の根本観音 た、一般事等の減係反対の根本観音 た、一般事等の減係反対の根本観音 た、一般事等の減係反対の根本観音 た。

に

子国の主張する

なり一身を犠牲にして此際電池し

年俸額は恐らく陸軍の方が司法とないと思ふ、併し予としては司法省でやることであるから彼れ是れ反對する筋合でもないと思ふ、併し予としてでまだ良く聞べて見ないが平均はまだ良く聞べて見ないと思ふ、供し予として 官より尠いのではないかと思ふというとは、自分一人なら様になってはよりないが何しろが使には澤山の人達の生活問題が終へてるるからナ 宇垣陸相語る 「東京物電十八日記」政府が顕

反對運動中止を

渡邊法相より懇請

司法大官を招集して

軍費調達見込つき 南京

派有利となる

反蔣派の提携は困難

通電**起**草

兩軍の死傷者

ラハス、における一豊夜の激戦

支那軍これを奪囘

展へルピン十七日海電】 等度電 東山深電人敷百名底形に機器した個 東山深電人敷百名底形に機器した個 東山深電人敷百名底形に機器した個 の実施を喚起。

四百名に上る

大使館 李宇官 宋西川 初被仰附

▲■鎌郎氏(闘東臨法院機察官)十八日旅順より來適各所壓助新任の検拶をなす

〇不不〇四六七後 入 大六二六場 九二七三引 〇申申〇〇〇〇

ばいかる丸船客 二十日 日の開戦に於て左の如く決定した日の開戦に於て左の如く決定した。
は特命全権公使へ一等) 豆瓣 現物物 海 特在一十八日

電子大師の王古林部脈が城内に侵 門十六師の王古林部脈が城内に侵 大した鳥めで職艦代見より直に陸

安否不明

蕪湖城內邦人

れてゐる

何健氏代表

國民會議に賛成

増加を配るが如き事實上需支交形

白系露人

に存成した

虐殺に激昂

世界的興論喚起

は 数を召集して関家の大本たる 配信 数を召集して関家の大本たる 配行するものであるが、右通電を 愛した後王士珍、熊赤郡氏其他在 国を破する 説解成つてあると云は

の低に書り居り安全である。関導館は汽岸にあり代見観点の低に書り居り安全である。関導館は汽岸にあり代見観点のである。関導館は汽岸にあり代見観点の低に書り居り安全である。

在蕪湖邦人

通電內容

『北平十八日發電』作り太原より は飛炭内に在り陸上と連絡してる際でする際天代表王樹倫氏は今朝 るが通信機関破壊され野人の安否 八時中愛電楽し間風山氏の観響。 不明である

山西奉天は

共同動作を執る

王代表閻氏親書を携へ歸奉

數日に迫る 蔣氏武漢に出動か

主力戦は

して一切の前一冊と歴史せんとするものである

込對は

豫算查定

非一異常の緊張を基するに至った常に悪化しつよるり本日の極廉は

南軍は河南中部に越極的銀路をなしてある 快力べき主力戦は攻撃日に迫つた 使の運命を中原の野に挟せんとし 狭介石氏自から武漢に到り最

問題は寧ろ結氷後

實狀調杏

る。田中福之助君の門敷胶 を積んだ後、十年齢りも米 を積んだ後、十年齢りも米 を積んだ後、十年齢りも米 を積んだ後、十年齢りも米 を積めたる。併台當時のハ に乗り込み、併台當時のハ に乗り込み、併台當時のハ に乗りしたり、米両監轄 の持まである。ニュウォ 【ハルピン酸】黒龍江省

居長に配金し、問君の紹介でニュ から來合せて居る内田湖崎舎社文 から本合せて居る内田湖崎舎社文

つてまで出て行く時間を 重すべき時間で、田ヶ典 のでまで出て行く時間を

一步匹潘五

南征雜錄 (11)

伊勢町 復四五六四、六八四六 原連町 戸田洋行電三九〇三番

大連三河町二・

ミシンと著書器は

常機種河島ミシン宮常六六八四

機能

京 東京池袋上一家東京池袋上一家

小島 納島其鎖一式 納島其鎖一式

濟生醫院

古満 街買入報参上 古道具高價

鄉號後屋質店

貸衣 集婚機用

あるが、南京政

同江は占領され 拉哈蘇々は安全 露支衝突と支那側の公報

構に輸送しつくあるが、特別機能のため各種軍器品を

情報課の招聘で

をらぬも多分本月末までしあらうる由で日本へ向ふ日時は確定して

る。 【ヘルピン致】勢農軍のために出 三型の他にロシャの配置が設けら 附近 にあり根花江下流の量鑑の都邑 観されたと云はれる拉哈藤々はへ れ関捷を成してゐるのであるが、 監にあり根花江下流の量鑑の都邑 観されたが拉哈藤々はまだ安全で 表記記記述との合派脈に位しへぶ あると偏へてゐる何江縣 観内には で支那能への全郷によると同江は出 安正 (文は誠 約五萬の人口を有してゐるが、 臨 で支那紙 (の下流十二 し特重物の出題りはラハススから 附近 (の下流十二 し特重物の出題りはラハススから (の下流十二 し特重物の出題りはラハススから)

とここ 長春原由北浦に標準 関車に推動へ同日午後八時 附近郷民薫十名を開墾して

社の機能を主というであるが同時に通常の産業風俗。 であるが同時に通常の産業風俗。 であるが同時に通常の産業風俗。 を製作せしめるため東京シネマ合 を製作せしめるため東京シネマ合 御の製作を体験することもなり検索機構報酬では日活の村田監督 村田實氏來滿 日入港のばいかる丸

宿料 食事夜具共月三十四の網 合百事吟樓永滯在尚勉雅 大連美德町九五貯炭場而聽陶館 電話八九六三 渡し 佐名 子 社 名 子 社 名 子 社

不用 品高價買入れ御報文第多 大谷所店 大谷所店 海連町二丁目 製鋼なら v 史イ惟キ コム 印の御用会は 市野町二六 一萬堂電七八五九 市野町二六 一萬堂電七八五九

21月 スグ出來ます 大山強(日本補近) 吉 野 號 大山強(日本補近) 吉 野 號

洋服頻電线

古本 高價買受御報多上

沙皮重大 3地広西・福盤常・風西は ・ハニュ 七 おを

電話 点利金融

電話六六八八へ

多元確實 一日泊込臺灣多拾錢 身无確實 一日泊込臺灣多拾錢 可公園町五七 一日泊込臺灣多拾錢

犬猫。 **無美家畜病院**

牛乳ベタークリーム
東部四五三七番 諸貨物運搬 車事業の日の出を御利用下さい 中事業の日の出を御利用下さい 日の出版を加利用下さい

頭痛とノ シンガーミシンは常整機 電話三五三三番

大連市但馬町二二

電八六七五

日案内

中古

本

瀬戸物へ彫り

◆何さ言ってもへルブは日本一 年来的二百萬の人が實験して無 年来的二百萬の人が實験して無 年来的二百萬の人が實験して無 ・ とが出来る。 ・ とが出来る。 ことが出来る。 ことが出来る。 ことが出来る。 ことが出来る。 ことが出来る。 で、要者の要枚がよくなり。由 とが出来る。 になったがまり、安眠をする。 になったがまり、安眠をする。 で 「刺がやみ 身種の 要調を依めていた。 「関のはるやらな気がなくなり。」

樂効 特的對絕のルタカ

神のなり、消化、鎌浦作用によって がつますから、酸つばい水が出ない。 が出れ、鎌浦作用によって が必要がある。のでは、水が出ない水が出ない。 では、水が出ない水が出ない。 では、水が出ない。 では、水が出ない。 ります。 治ります。

◆馬も肥えるといふ秋は、一般に 大でも大学氣分がよいように思っ 大でも大学氣分がよいように思っ のでは、一般に のでは、一般に のでは、一般に 色よく身體を肥らせる大効

り、酸つばい水が出たり、吐氣を酸過多症にかかつて、胸がやけた の効果は こんなに偉大 したりしますが、



は全國民を挙げて国新等時 打開せる 經濟國難を 以薪嘗膽? 報

(可認物理解附三年)

洲

H

表の張神氏一版は反叛職態の長神氏一版は反叛職態

反蔣運動の影響

單獨交渉説もあるが

當分は洞ケ峠を極る

白系追放

大会には、 大会には

際に動し張興島氏が如何な とン要」反義である場、再 するべきだとの説が有力である

的に重大な

常部組織

を膨慢を元すかは間接的に置大な に関係を有してある。が総當分は時 の方が、東北政理としては最終方 に野難関係を有して身級治験に の可能を増振してあるため、 が総當合の可能を対振しては最終方 に野いて根値的の に関係を有して見級治験に であ

北端し谷地に実際部と館或するた 【ヘルピン裂】ヘルピンに繁都を

監禁赤系人の

釋放を拒絕

支那側は正式交渉の際 政治犯として持ち出す

> 一連が特別である。大部分は富鉱と 取得で小変の知きは富統に集中 れる。更新能統は第九族学科は を持つ、東京の記さは富統に集中 は一連が特別である。大部分は富鉱と

近く東北寺古は一番の野民政治長章 「古林設」古城省政府民政治長章 「古林設」古城省政府民政治長章 「古林設」古城省政府民政治長章 「古林設」古城省政府民政治長章 「古林会」「古城省政府民政治長章 「古林会」「古城省政府民政治長章 「日本社会」「古城省政府民政治長章 「日本社会」「古城省政府民政治長章 南京の親察員 であつたのだらう然し極東軍機では支那戦が最初的教験では支那戦が最初的教験では支那戦が最初的教験では支那戦が最初的教験を持ちれる。

軍が如何なる攻勢に出て來るから十一月下間%に至つて継るから十一月下間%に至つて継るから十一月下間%に至つて継 全表してるる。 從つて語支配 がしたとは

きぬので述ってゐると ロシア文豪

長春經由北端 ズ氏波日計畫 邦文 タイピスト短期養成 大連市大山通 小林又七支店 大連市大山通 小林又七支店

「スペピン要」 「「スペピン要」 「「スペピン要」 「「スペピン要」 「「スペピン要」 「「大阪 」 「大阪 」

電八三二九

多營軍需品

クサ み間等の特 クサ み間等の特 クサ み間有ます

会木丈太郎 電話四六九二番

海人 絹 像ハリ灸専門療院

薬及治療 電六一三四

一三四五

牛乳 バタークリーム

白系慘殺宣傳

和員 招聘問定船支給

大きない、大の知さ其間的事ではなって現はれます。 質となって現はれます。 質となって現はれます。 ではないでである。 が表記を選め、解先の支へを まり、解計を除く。

特産物を上場する批選は原田 正じ窓月中間乳には移順する はなく指令さへ出せば實施するこ ななく指令さへ出せば實施することなってあるし又特産上場を批 としても全然之に反発する意志で としても全然之に反発する意志で

列車事故防止の 日懇談會

奉天鐵道事務所管内の 開催日程發表さる

日から十日間左記日程で及に努めてゐるが本年も 一村長、野婆所では沿線における 一村長、野婆所長、保 一村長、野婆所長、保 一村長、野婆所長、保 同二十七日、公主盛、遼陽、 本溪湖、双廟子本溪湖、双廟子 四平街四平街

日数件による影響事件が接続してあると等は発送であるとです。 要にで成を数にしてあるので歌彩峰を 変にで成を数にしてあるが時から 変にで成を数にしてあるが時から で歌彩峰を ができるとこれでは 変が、 で歌彩峰を がはまるとこれでは で歌彩峰を がはまるとこれでは で歌彩峰を がはまるとこれでは で歌彩峰を がはまるとこれでは で歌彩峰を がはまる。 で歌彩像を がはまる。 で歌彩を がはまる。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる

奉天取引所の

特產物上場

反對者の為め實施遲る

千四百十三週海常料一萬五千百四三百七十七週計締の場高は一萬五三百七十七週計締の場高は一萬五千四百十世后の曹上郷高は四萬八千四百十世后の曹上郷高は四萬八千四百十

九日から二日間北陵の大運動場にて開催されること」なり晩秋の率天にも俄然人気を沸騰せしめて来たが率天は勿診流機の各地から多

北部局支那職で養成者と共 にお問支那職で養成して で養成して

権利囘收を圖る 開業暨問題に現はれた 支那側の巧妙な作戦

南を得れば蜀を窓むと云ふことは 職である處から市政局の自治学を考板に特別區内にある鮮外關係 は端に支那側の作戦は上々なるもであることを育定した日本側に数してある。 別編本交渉に就して国際にして野魔の如く臀が開業には支那側のである。 別編本交渉に就して国際が、現へられぬであらり、 はったのである。 別編本交渉に就して国際が、現へられぬであらり、 はったのである。 別編本交渉に就して国際が、現へられぬであらり、 はったのである。 別編本交渉に就して国際が、現へられぬであらり、 はったのである。 別編本交渉に対して国際が、現代本のである。 別編本を対したものに限る旨を 客附した 客附した 管附した では伊藤公綱像維持費に金百圓 では伊藤公綱像維持費に金百圓 では伊藤公綱像維持費に金百圓 では伊藤公綱像維持費に金百圓 では伊藤公綱像維持費に金百圓

で、其のうち三百餘部のテンドは総々擴張さ ではボッノ〜準備を重ねてあるが 東支機道の東行吐地の島め本年の ではボッノ〜準備を重ねてあるが

得愛を戦りし時金融を以て東曼 で事なきを得たり。後年子胥志 呼ぶ。子胥此殿に乗じ粽に闕を 館支紛争の影響 に報ひんとせしも行く嘘を知 は悉く南行し冬季の繁忙期を するに個人一隻の船あり。 斯くて行くこと数日江を渡 貨車配給打合

ふ人あり、一

助教授辻

寒氣を前に 盗難事件の頻出

市民の注意が肝要 餘地なき大橋況を呈すると、 観者でさしもの大運動場も立 酒みで馬車さへ前借りにしてされてゐるが率天の自動車は

を投じて新築中であったが煎×こ を投じて新築中であったが煎×こ

職を乞ひ龍田院長から各施院を乞ひ龍田院長から各施院

鎌選事な八千代職に招待して 歴史新地方委員は十六日夜田邊前帯

営口醫院を

参觀さず

來る二十日に

蔵身長五尺二寸位の支那人男の極率天水泳ブールの雄に年齢廿七八

を取締る を取締る。 を取得る。 を可能。 を可能

の株装護動と判明 本路介石氏が三 民主義の概化だと考へさせられる 民主義の概化だと考へさせられる 民主義の概化だと考へさせられる 民主義の概化だと考へさせられる は言つてある。だが蔣介石に味方 する勇気は勿論ない。本日く「地方 する勇気は勿論ない。本日く「地方 する勇気は勿論ない。本日く「地方 は地方で統領して行くことだ」と

天勝一座來る

風紀が観り淫動の風が膝になつ

附属小學生九十三名 十八 新聞主催視額度六名 十八 番へ

輸組臨時總會

長

農閑期で

苦力動

四平街

教育視察園四名 十七日初來率 桐物同葉組合員七名 十 八日遼陽~廿日來率廿令部職史旅行團第一班 四平の職入組合は來る二十二日午後二時より滿線配員俱樂部に臨時總會を開き左믮職我につき協議する皆

七日大連より來翠同目京城へ全國教育大會二班五十六名 十

三、組合員會規約審議決定の件
二、監事、評議員任選改選の件

賓

質の姿である九月中の織績 は山東移民の誘致に努めた甲型

瀬戸 関事 附添ひ朝鮮、 ない でして良民に新税を課し其他器 でして良民に新税を課し其他器 でして良民に新税を課し其他器 の徒を報 する所となり去る七日附屬地内!を重ねてゐたが長春職祭署の疾。 管して良民に前税を課し其他器

日長春曜に於て附者當局が

あして来れば頂に一蹴されるは明

(1.00) (1.00)

代員決定

前の通り二道碼頭に居住りである

ること」なった 共榮會社移轉

六萬八千圓

二十一日午後零時十五分發と決定してある。 は越線服事より除職がないとが、は越線服事より除職がないとが、は越線服事より除職がないと

社會係主催 蔬菜品評會 受賞者の氏名 五窟を乗ち得た事は一般受職人の であった経本総定に感覚小學生五 であった経本総定に感覚小學生五 であった経本総定に感覚小學生五 守備隊の禮狀

三四五六七

光相先先番

湖茂唯二氏

日三百事内外を下らぬので満線で は難覚を増覧し程書の苦力を一千 河合態級上は先 浜 来 渡 神されて は難覚を増覧し程書の苦力を一千 あるがこの十九日長歌に起き長春 こと」なつてあるが森田剛長十八 と」なつた と」なつて と」なって と」なった と」なった と」なった と」なった と」なった と」なった

| 日下南浦に於て襲行中の松旭驚天|
| に於て二日川開演すると 自生電腦法講習

陸青年職々長としてその人格的光大連商業際懸校の創立者或ひは大地の意分の人として又疎明高女

が段々東北から消散して行く団を大きがりとある。

が既々東北から消散して行く傾向 を表表が新版は一座に宋哲元の反為 を表表が新版は一座に宋哲元の反為 が既々東北がした。本南京政府の影 公學堂創立 十五周年記念式

東に飾り春に又やつて來るが、本後はする苦刀は農繁期がすぎて多いになると一年間の貯金を拠へて山 勤績者表彰こ學藝會 十七日盛大に擧行さる

三年誌の旅野事件たる機能シンデート野舗州銀行の電金返還訴訟 かート野舗州銀行の電金返還訴訟 かったが急に歴更されて更に禁訟 では本月五日判決言渡しの筈で では本月五日判決言渡しの筈で

貸金返還訴訟

三年度盜難額

安

東

| 大大川 氏部 | 東京に下京 | 大大川 氏部 | 東京に | 東京に | 大大川 氏部 | 東京に | 大大川 氏部 | 東京に | 東京に | 大大川 氏部 | 東京に | 東京に | 東京に | 大大川 氏部 | 東京に | 東京に | 東京に | 東京に | 大大川 大大田 | 東京に | 東京に | 東京に | 東京に | 大大川 大大田 | 東京に | 東

よ

い薬だし

だけは

家庭上備へ上灣歌門

日下齒科路院

一種言外の強味トリ

健康男女も服め

日:

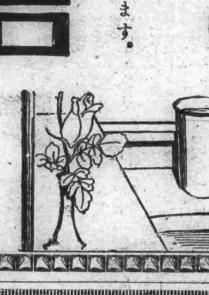
終

は

3 前: のライオ

▼それは、最もよく、 むし歯を豫防します。

東京·大阪·名古屋



幽

LIQUID POLYTAMIN

なるは周知の所なり。 ミンに肺結核治療薬 ごして特値ある補血滋養强壯劑ポリタ 肺結核の治療上榮養劑の必要 コールポリタミンは、 最も價 グアヤ

兼備せしむ。 尚ほ食慾増進作配し、榮養主薬物の兩作用を効あるグアヤコール化合體を も有力なる治療補助劑なり。用をも有す。肺結核療法上最兼備せしむ。尚ほ食慾増進作 用をも有す。

其個道和歐大 元 資 刻

全國薬店にあり

29_901 (D)

食はず嫌ひは困る

味の素の美味は使

らぬ、 味き」の役 食はねば解



料理界權威の推獎!

中多繁野女史 山田政平氏

経好な調味料だからである。 本場で盛に使用されてゐる位 本場で盛に使用されてゐる位 万能的効果より見て家庭に飲

宮內省御用達 鈴木

30-1

大チャン

ノタンケン

(122

R

ミチ作

ジラウ富

から生れ出たばかりの

ナフシ虫です。 さい戦ちろし やかましい 吸いてある 肌になると、 こほろぎ



事いてゐる あなから出て來て



ちろくちろく

鳴いてゐる

唱きゃんで

やかましい

鳴いてある

さん代型の腕を無をつ

といふのが即

兄童遊園

そのプランー(十

關東歐體育研究所主事

山本壽喜太

料 (今願性、木製、コンタリート 大及管理法、同一種に置する職員 人及管理法、同一種に置する職員 人及管理法、同一種に置する職員





隣隣は難く中央に向ふ 、 情がつて避

ろである。どこの遊

た。関係を目的とするブールとは其他の名の元すが細く

日の寫風をごら

さんは「うどんげの花

夏方のこと。 短い際に手際よく極めた歌。好 る。書きぶりも岐面目であるし るの書きぶりも岐面目であるし

先生達の競技會



あり、毎日何于と云ふ御客を相手にする私迹はギゴチない英語での生れた韓日本では之を立てるんだらう」なども話しかけるのも日本のキャムで地の一隅に立てられた鯉の吹流しは大評判でした 評判の鯉の吹流 り(その三)



行式の製か味のある家話は如何 三、四の歌謡を敷めてゐる。 酸



本舗には戦極の中料準があり御谷體によりて お知らせに死り大無、それに遊戲した加微樂をお水の間には製機の中機識加減樂があります都等的

定似

十一日分

なる

はな人り、前」婦人の體は非常に復雑で微妙な為疾病が起れのお方は中將湯を召上れ、中將湯は心身を快活ならしめ、下腹かキリ人、痛んだり頭痛や眩暈がしたり鬼角健康の勝下腹がキリ人、痛んだり頭痛や眩暈がしたり鬼角健康の勝い、強潮たるべき若き身でありながら、月経が不順でり易い、強潮たるべき若き身でありながら、月経が不順でりあい、強潮にある結婚生活へ導きます

主婦となりて」は別して健康が大切です、家庭の闇黒 を召して身の健康を計るが第一でありますは妻の病気が基立なることが多い、されば朝夕に中將湯

今や婦人良業でして内外に賞讃せらる中将 解別さして盛に要用されてるます な全身が気持よく温かく質に讀書者の一大 は全身が気持よく温かく質に讀書者の一大 產科婦人 き疫を養えた時、一杯グット服用すれば又湯が神經衰弱に非常なる効あり讀書等に軽 科諸博士推獎

便 定 州二十六二 五日日 分分分分 伍多爪亚五 元元元元角

備実に特々て必初が回今はのたれらせらる幸行に優帝てしと下陸上今。たれさば遊

障碍飛越しの

調教はコウー

全浦馬術大會に出場する

岡野中尉は語る

全滿馬術大會

0

大連實業無野球部にては十七日午

でる事で

賃業紅白試合

腹チプス

四

が一般から参加する一行十五名は十七 に出場する権州選手の中大演。旅 に出場する権州選手の中大演。旅

れて出張した

故王永江氏

中並に官墓館の熟狂振り素晴らしにスタートを切つたが、此の日市

武畿、四着 ストルツ

們嘗祭御執行

日獨競技會の獲物

しく學行せる

新記錄四

京城運動場にて難べしく事行されて、京城運動場にて難べしく事行されて、野党党を動する日旗競技会は十七新記式を動する日旗競技会は十七新記式を動する日旗競技会に 一〇〇米突 一治 エルドラ 三千米突 一着 北本政大九

女子一〇〇米 一荒 人見 第一回武、三着 ワイス 編技(十二秒)世界新記録。二着 小川マサ枝、三着 温品ベルチ ・四分十五秒)二清 北本政文、 三着 津田晴一郎 分八秒五分の四)(日本新記録) 一着、ディタマン、三着 過龍 (東公明群)四着 郭爽极 (東公明群)四着 郭爽极 をいシュフェ をいシュフェ 0 二等 生育耕作、三等 本字入四)、二等 本レス(六十四米 生レス(六十四米

女子四百米突リレー 分二秒)、二着 久室 「美)、二等 南部忠平 「五)、一等 南部忠平

「東京特党十七日を】日佛庭珠式 三年町コートにおいて開催、左の 三年町コートにおいて開催、左の 第三大大 ラアアル 九六十一ブルニョン 3799

(日後のため中止)

國際競技へ

男ましく出發 旅大からの陸上選手

荷造包裝展覽會

懸賞募集したポスター

や標語

内地から出陳の参考品を陳列

あす賑々し

日下土

日本が二勝 日佛庭珠試合 に随いを設に配素なる生活を纏け
 「一般変形官僚に身を以て観を示せ
 「上事子大勝子
 大連商業との
 ラグビー成球
 南浦工寒戦大連商業を図であると言はれてゐる
 「一般すからであると言はれてゐる
 大連商業との
 ラグビー成球
 南浦工寒戦大連商業機替ラグビー
 東京十七日頃置」新郷戦機を下
 大連商業機替ラグビー
 大連商業との
 「一方とは片腹線にとて事故無し
 り工歌グラウンドに於て安藤氏レ
 しデーなどは片腹線にとて事故無し
 り工歌グラウンドに於て安藤氏レ
 しデーなどは片腹線にとて事故無し
 しデーなどは片腹線にとて事故無し
 り工歌がラウンドに於て安藤氏レ
 しデーなどは片腹線にとて事故無し
 り工歌がラウンドに於て安藤氏レ
 しデーなどは片腹線にとて事故無し
 しデーなどは片腹線にとて事故無し
 り工歌がラウンドに於て安藤氏レ
 しデーなどは片腹線にとて事故無し
 しデーなどは片腹線にしてゐる
 しがしため行機みの有様に
 しがしため行機みの有様に
 しがしため行機のの有様に
 しがしため行機のの有様に
 しがしため行機のの有様に
 しがしため行機のの有様に
 しがしため行機のの有様に
 しがしため行機のの有様に
 しがしため行機のの有様に 級に対立を開発は学を益之と戦し海 水江、王永朝 Cコー戦歳にして知 水江、王永朝 Cコー戦歳にして知 一般支那官僚に身を以て戦を示せにして、王永江氏が省長の衆戦をにして、王永江氏が省長の衆戦を地のでの戦に職者なる生活を織けた戦のを記しまる場に関するという。 はじめ友人郷代賞衆鎧、岩間線 王朝〇にて工事大勝す、開戦十一イ(四一回ゴール成る)を得四十イ(四一回ゴール成る)を得四十 時三十五分 五 45 26 19 行惱む 事故無しデ

滅俸問題から

00大商

五周年

0

兒童

盛況を極めた 戦蹟リ

張り切つてゐる

期賣

二二二二二 十十十十十 四三二一十 日日日日日

道世

具帶

商

丸石

電話三三一〇番

博文公十年以

【門司物電十八日記】故伊藤輝文公の末子鴻線社践伊藤鎮一氏は十 公の末子鴻線社践伊藤鎮一氏は十 - 年祭が執行されるの したが、今回氏の

本レースの新記録を作る

十七日旅順において

は く、自動車十数素を連ねて各テー は で 優別の発売は大連滅信件製物の発売は大連滅信件製物の発売は大連滅信件製物の発売は大連滅信件製物の 英艦演奏會の

手に備した。今回の一時間五十八分廿二秒のタイムは本レースの新 る料の機能 諸教演化 本 経入奏等に 社体

品が確かな

一等大連總信俱樂部。

一等採順二中、二

営利より奉仕へ

生花職合大会大連 能に於て開催すると(午前九

ラデュ

用心しませう 昭和四年十月十九日土、曜日) 日午前十一時 相場 (特重、健参、株式、各地相場) 日午後三時三十分 日午後三時三十分 日午後三時三十分 日午後三時三十分 日午後三時三十分 日午後三時三十分 日午後三時三十分 日午後三時三十分 日午後三時三十分 日午後一時 (特重、健参、株式、各地田場) ニュース

、三井の大せいもん拂はいよく一來る廿日より廿七日まで店内全品にわたり事

の大人気で荷ふて… みなこの「唇女拂」

- 早くも皆様のお待ちかね:

- の「唇女拂」……で、全く三井せいもん大安霞は、一年中でのはありません。お買物上手なお客様方は、アレもコレもで、客中行事の大催しで「髻女拂」ほど殊に御婦人方の心を

開催に就て

、空前のせいもん大提供品...

時節柄最も適切な需要の廣い實用品より高級品

々しく開催

に至るまで…

全店せいもん大マーケット

総道部主催の下に来る廿日から廿包装荷造展警會は既報の如く浦鐵

ひそめて来たが、野架物が朝夕の一般感じ、北風が吹き出すと一時経域 五、ラデオを登録 三、料理献立
三、料理献立

、本年はいち早く誓文拂の新計畫に手を染め全國各産地、製造元の最底値奉仕

品を大量に準備の調ひましたことは實に仕合せとするところであります

斯くして三井の警文サーヴィスは、提供品の充實に價格のトビキリ安値に、

あらゆるその萬全をつくして皆々様の御來店をお待ち申し上げます

電十八日教』いよく案 る日支継黙抗競技に出場 に決定した、人見観校歌 子歌手一行に先だち十人 一般が車で來率したが、大 その他多数の出迎へ人に ドイツ選手 面白い競技が見られませら 人見選手きのふ着奉

酒

頭子 菓

渍

日本各地名産.

珍

在なは機械院に二十一人。大連み三十一人の多きに達してゐる

東京風菓子謹製

各國

酒

時院に十九人、その他に一人合計四十一人の販者が解釈に呻吟して居り、なほ一層懸さが押し寄せて来れて猩紅熱などの悪路も流行して来るから一般各家庭は油脈ならない状態にある

毛皮鞣染色

医四四大生

●ハシン「頭痛にー 常分租景准品 新規開店 サンなな船間

軍手現金卸 ノーシン 山本洋行

帝國本ルトー産 ・本國の蘇格爾の名物 ・オングオフキング ・オングオフキング ・オングオフキング 米関東スープいろく 食 を話せれせ五番 教場可歌禅伎座石装 0 00 字益芝義 本月

満鐵社會課が開く 愛護デー 日から二十九日まで

日午前十時二十五分京城設、午後で一時五十分周水子飛行場に驚陸、一十七年第二十五分京城設、午後で一条客二名

移轉二周年記念士

一賣出

掘出物澤山お早い勝へ

大連市 浪速町(磐城町突當り)

唇たが眠つて了つて運ばれたこ りで川帆雷日河南丸に影び込ん

大田午前八陸呼野後水道を続行中六日午前八陸呼野後水道を続行中六日午前八陸呼野後水道を続行中出して東た支那人があるので取職である。石は山東省生地は一下半へでしていひ天津に完就するつで、日間間日河南丸に忍び込ん

族入道具全商品大<u>整理</u> E 付半 額世帶道具全商品大<u>整理</u> E 付半 額

亂賣

主 催 満銭運動會馬術部 電景下中央土地廣場 不 要 不 要 湯月社メダル 電景下中央土地廣場

要地類、コート地、ショール等店内全商品恋くせいもん精提供…… 保護、訪問版、繪葉別談、大島、小清、御召、銘仙類、碧地類、モックがコール地………十六 顕七 十錠 一 豺 二 重 丸 帶・カ 荒 尺………一加 三十 五銭より 一 白 絹 薬 用・中 東 地……九十 五銭より 一 子 供 八 掛 用・ギ・・・ル……九 銭より 一子 供 八 掛 用・ギ・・・ル……九 銭より 子 供 八 掛 用・ 服 年ス寮尺、多木綿反 明・・・・・・二 週 九 十 年 明・・・・・・ 二 週 九 十 年 明・・・・・・ 二 週 九 十 年

話長六六六五

当日二 滿日俳壇 文藝 かをもむをよ

信じてゐてぐれる彼女をないに描える夜具に織つ」、自分つ馬兜を 温めた。 チス

秋夜明月を仰ぐが如 あらゆる薬に温泉に の惨苦遂に消え CTITITION IN STREET

流石に安樂散と 悩みぬいた人教はる!

をなれるもの、今然に安 しとして、世人の恐怖の的 しとして、世人の恐怖の的 いかに多さか。 高い、今然に安 ある。同解者よ、職では最 いたシャーションを受起して がセンセーションを受起して がないました。 の、今然に安 の、今然に安



アメリカ、ガナダに到る遊、同様一識るるであらう。 無然たる欣喜自から勝氏の心頭に論支那陥洋、ハワイ、 人 無然たる欣喜自から勝氏の心頭に

東京市本鄉區菊坂町五十二番地

久配のことも野しく書きまてられ にまで歌き及ばした新聞もある。 にまで歌き及ばした新聞もある。

配人として厳事局に渡られ、そこ 歌祭常厭は色めき立つた。 久澄は

そんな標準と三段抜きで指げて

方へは無代で進坐改します。報告書を掲載したる『健康への道』を新聞名記入の上御中込の報理に関しては治燈及漢防を詳しく説明じた貴重なる文献並に 安果散聽發賣元河 摄輕東京四六一八二 電話小石川五二二二

代理店

於鹽橋齊語獨日新堂樂局

コム手袋は贅沢品ではなく 經濟上実用的日用品なり

を対象が事川にお棚を続すに一日の総科十段に見てればを傾向 た十間以上の支配となります、家庭用ハナキゴム手袋を使用 た十世が出来ますから でで、家庭用ハナキゴム手袋を使用

家暦イギン学校 の仕事が出來且保御の傷め「ラクダ」

るの同いに外費もえらい

て物がされた観音は、

原 句のまや版大 大型大木大利大木

ちが非常にヨウなり心臓が楽々さなり身体に爽快な温暖感を與へて気持 スペロイン」の頓服でラクし止びにピンナに苦しいセンソクの發作し 素な巧に小便にさる強心性の貴重なスペロイン」は頓服ですぐに患部 大な作用 タンが切れて へて氣持

商島上海行

ランなどの様な審劇楽の類でないからコンナによくキクがモルヒネマアドレナ 少なくなり遂に喘息が起らの様にき積き服用して置くさ喘息の發作 して服用してし人体に書

ガンコなセキや百日咳に像

に一たは音です。速はす今すぐ質 で治らぬさ悲観してあた人や注動 に一大に向さ悲観してあた人や注動 に一大に向きを観してあた人のとなる。 、ガンコなセキ、神経支援後、

のでその概念の芸術を出めるにはコノ議業をのでその概念ではの芸術を出めるにはコノ議業を心臓を選心する事が最大形要なのであるが会を知らず強式な療法では何をやつても駄目などが出まる。併しコノ注射は準調薬なのの場所のなする。併しコノ注射は準調薬なのの場所のなする。併しコノ注射は準調薬なのの場所のなずる。併しコノ注射は準調薬なのの場所のできるが、 も息が切れる喘息



發賣元 興味ある實驗例集 下二都町十番地 明

がある。 何でも御利用下さい 大連系とは101 | 櫻井內科醫院

内科專門

大連市愛宕

政記輪船份有限公司

東藤客荷 丸 一 商 會 繁盛 東 東 一 一 商 會

· 异异

支

◆青島上海行[羅山丸 大阪商船株式會計 大阪商船株式會計

切らず

治の

り現れ、うみやいた

服用ご同時に反應

)III [II]

年の慢性淋漓も

現代トリー 見事によくなる

より優れたる

みは忽ち止り

ず 3

湊式吸癒

新治林前はない人は直ない人は直

ぐ試みよ

小路圖誌 海圖 販賣所 キューナード汽船會社 新鮮難船株式會社大連代理店 新鮮難船株式會社大連代理店 都名業務代理店 大阪商船縣

力 スケードだ 味だ! やない